

特214

338

宗

制

草
案

淨土宗西山光明寺派

納本

6
7
8
9
18
30
1
2
3
4
5
6
7
8
9
18
4

始



特 214
338

淨土宗西山光明寺派宗制目次

第一章	總則	一
第二章	教義ノ宣布及儀式ノ執行	二
第一節	教義ノ宣布	二
第二節	儀式ノ執行	六
第三章	紋章	六
第三章	管長其ノ他ノ機關	六
第一節	管長	六
第二節	管長ノ代務者	三
第三節	宗務本所	三
第四節	宗務所出張所	三
第五節	宗務支所	三
第六節	外地及外國ニ於ケル布教監督ノ機關	三
第七節	諮問機關	三
第八節	宗會	三



目次

一

第九節	參事會	四七
第十節	其ノ他ノ機關	四九
第四章	寺院教會其ノ他ノ所屬團體	五一
第一節	寺院	五一
第二節	教會	六九
第三節	宗教結社	七〇
第四節	其ノ他ノ所屬團體	七三
第五章	住職及教會主管者	七三
第六章	教師及僧侶	七六
第一節	教師	七六
第二節	教師ノ養成機關	八七
第三節	僧侶	九三
第七章	檀徒及信徒	一〇三
第八章	褒賞及懲戒	一〇五
第一節	褒賞	一〇五
第二節	懲戒	一〇八

第九章	財產管理其ノ他ノ財務	一六六
第一節	財產	一六六
第二節	賦課徵收	一七二
第三節	豫算及決算	一七三
第四節	其ノ他ノ財務規定	一七三
第十章	公益事業	一七四
第十一章	補則	一七五
附則	則	一七六
別記	記	一七三
樣式	式	一七五

宗制要綱

第一章 總則

- 一 名稱
- 二 事務所ノ所在地
- 三 教義
- イ 開宗ノ本旨
- ロ 傳燈相承

ハ 教義ノ大要

宗制

第一章 總則

- 第一條 本派ハ淨土宗西山光明寺派ト稱ス
- 第二條 本派ノ事務所ヲ京都府乙訓郡乙訓村大字粟生二十六番地ニ置ク
- 第三條 本派ハ派祖證空、宗祖源空ノ偏依善導ノ教示ニ據リ至心ニ阿彌陀佛ニ歸命シ彼ノ佛ノ願力ニ乘託シテ報土往生ノ勝果ヲ期ス是ヲ以テ開宗ノ本旨トス
- 第四條 本派ノ傳燈ハ通ジテハ龍樹天親等列祖ノ教相ニ依リ別シテハ高祖善導一師ノ證道ニ依リテ宗祖源空、派祖證空ト宗脈ヲ傳ヘ 又舍那、釋迦乃至源空、證空ト戒脈ヲ傳フ 此ノ宗脈戒脈ヲ併セテ法脈相承トス
- 更ニ派祖證空己證ノ當麻曼茶羅ノ祕髓ヲ傳フルヲ曼茶羅相承トス
- 此ノ法脈及曼茶羅ノ二種ノ相承ハ派祖證空ヨリ淨音、觀智、行觀等ト嫡々相傳ニヨリテ總本山法主之ガ法燈ヲ傳フ
- 第五條 本派ハ阿彌陀佛ノ大悲願力ヲ聞ク當下ニ機法一體願行具足ノ南無阿彌陀佛ト領解スルヲ往生ノ正因ナリト證得シ 此ノ正因ノ上ニ顯現スル三業四威儀ハ悉ク往生淨土

ニ 本尊ノ稱號

ノ正行ナリト判ジテ人道即佛道ノ祖訓ヲ履踐スルヲ以テ教義ノ大要トス
第六條 本派ハ阿彌陀佛ヲ本尊トシ觀音、勢至ヲ二脇士トス又高祖、宗祖、派祖ノ影像ヲ安置ス

ホ 所依ノ經典

但寺院ニシテ從前ヨリ本尊ノ定マレルモノハ此ノ限ニ在ラズ
第七條 本派所依ノ經論釋ヲ左ノ如ク定ム

佛說無量壽經 康僧鎧譯

佛說觀無量壽經 璽良耶舍譯

佛說阿彌陀經 鳩摩羅什譯

往生論 天親菩薩造

觀經四帖疏、具疏 善導述

選擇本願念佛集 源空述

觀經疏觀門要義鈔 證空述

當麻曼荼羅註記 證空述

第二章 教義ノ宣布及儀式ノ執行
第一節 教義ノ宣布

第二章 教義ノ宣布及儀式ノ執行

第一節 教義ノ宣布

一 布教ノ目的
二 布教區

第八條 布教ハ列祖ノ洪範ニ則リ教旨ヲ宣布シ尊皇報國ノ實ヲ舉グルヲ以テ目的トス
第九條 前條ノ目的達成ノ爲メ布教區ヲ左ノ如ク定ム

一 東部布教區

東京市

愛知縣

三重縣

岐阜縣

福井縣

二 中部布教區

京都府

大阪府 (泉南郡ヲ除ク)

岡山縣

奈良縣

兵庫縣

三 西部布教區

山口縣

第二章 教義ノ宣布及儀式ノ執行 第一節 教義ノ宣布

福岡縣
大分縣

四 南部布教區

和歌山縣

五 北海道布教區

北海道

六 開教地布教區

朝鮮
臺灣
滿洲
南洋
支那
南支
其ノ他外國

三 布教ノ種類

第十條 布教ノ種類左ノ如シ

四 布教ノ方法
イ 本部布教

- 一 本部布教
- 二 特殊布教
- 三 開教地布教
- 四 地方布教

第十一條 前條各號ノ布教ヲ左ノ如ク分ツ

イ 本部布教
ロ 特殊布教
ハ 外地布教
ニ 地方布教

- 一 本部布教 管長自ラ行フ布教ヲ謂フ
- 二 特殊布教 官公衙、學校、會社、工場、軍隊等ニ於ケル布教ヲ謂フ
- 三 開教地布教 布教師ヲシテ巡回布教セシムルヲ謂フ
- 四 地方布教 管長自ラ行フ布教ヲ謂フ
- 一 本部布教 官公衙、學校、會社、工場、軍隊等ニ於ケル布教ヲ謂フ
- 二 特殊布教 文書布教 刊行物ニ依ル布教ヲ謂フ
- 三 開教地布教 映畫布教 映畫、紙芝居ニ依ル布教ヲ謂フ
- 四 地方布教 開教地ニ於ケル布教ヲ謂フ

巡回布教 宗務支所長ニ於テ布教師ヲシテ其ノ管内ヲ巡回布教セシムルヲ謂フ

定例布教 住職又ハ教會主管者其ノ寺院又ハ教會ニ於テ行フ布教ヲ謂フ
第十二條 前條ノ本部布教ハ毎年一回以上管長ニ於テ其ノ區域及日程等ヲ定メ豫メ宗務支
所長ヲシテ管内ニ告示セシム

寺院、教會、檀徒又ハ信徒ノ特請アルトキハ臨時管長布教又ハ巡回布教ヲ爲スコトヲ得
第十三條 管長ノ特請ヲ爲サントスルトキハ布教期日ノ一月前迄ニ管長ニ出願スベシ

第十四條 開教地布教ハ開教師ヲシテ之ヲ擔任セシメ其ノ經費ハ毎年當該開教ノ成績及本
派豫算ヲ考慮シ宗費ヲ以テ一定ノ金額ヲ補給ス

第十五條 布教ニ關スル經費ハ特請ノ場合ハ特請者ニ於テ其ノ他ノ場合ハ宗費ヲ以テ之ヲ
支辨ス地方布教ノ經費ハ當該宗務支所又ハ寺院及教會ニ於テ之ヲ支辨ス

第十六條 布教師ハ布教終了後直ニ其ノ概況ヲ管長ニ報告スベシ
第十七條 布教師ハ擔任布教地ニ於ケル僧侶、檀徒又ハ信徒中ニ教義ニ違背スル者アル場
合ハ之ヲ教諭シ改悛セシムルモノトス

第二節 儀式ノ執行

儀式及行事ノ種類
イ 恒例

第二節 儀式ノ執行

第十八條 本派ノ法要ハ佛祖先德ノ遺範ニ則リ之ヲ虔修ス

第十九條 寺院及教會ニ於テ行フベキ法要ハ左ノ如シ

恒例

臨時

一	四方拜祝聖會	一月一日
二	紀元節祝聖會	二月十一日
三	天長節祝聖會	四月二十九日
四	明治節祝聖會	十一月三日
五	大正天皇祭	十二月二十五日
六	十夜會	十月十五日
七	降誕會	四月八日
八	涅槃會	二月十五日
九	高祖忌	四月十四日
十	御祖忌	一月二十五日
十一	派祖忌	十一月二十六日
十二	孟蘭盆會	七月十五日
十三	彼岸會	春分日、秋分日

但右執行期日ハ四大節及 大正天皇祭
ヲ除クノ外ハ地方ノ慣例ニ依リ適宜變更スルコ
トヲ得

- 一 得度式 徒弟ノ宗門歸入式
- 二 誓約歸入式 檀徒又ハ信徒トシテノ歸入式
- 三 剃度式 檀徒、信徒度牒授與式
- 四 相承式

イ 法脈相承式

本派僧侶ニ限リ總本山ニ於テ爲ス傳授式

ロ 曼荼羅相承式

ハ 五重相傳會

檀徒信徒ニ宗脈ヲ授クル儀式

ニ 授戒會

檀徒信徒ニ戒脈ヲ授クル儀式

五 晋山式

住職就任ノ儀式

六 遷座式

堂宇又ハ佛像修理改築等ノ爲メ佛像ノ位置ヲ移動スル場合ノ式

七 入佛式

佛像ヲ本來ノ位置ニ安置シ又ハ新ニ佛像ヲ安置スル場合ノ式

八 葬儀法要

檀徒信徒ノ葬祭儀式及年回法要

九 祈願會、追悼會

國威宣揚祈願法會並國家功勞者等ノ追悼法會

其ノ他古來慣例トシテ行ヘル法要ニシテ教義ニ違背セザルモノハ適宜之ヲ行フコトヲ得

第三節 紋章

第三節 紋章

第二十條 本派ノ紋章ヲ左ノ如ク定ム



龍 膽 車

第二十一條 寺院又ハ教會ニ於テ前條ノ紋章ヲ使用セントスルトキハ豫メ左ノ事項ニ付管長ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 使用ノ理由
- 二 使用セントスル器物等ノ名稱
- 三期 限

但法服ニ使用スル場合ハ第四百三十九條第一號乃至第四號ノ服制ニ牴觸セザル限リ之ヲ使用スルコトヲ得

第三章 管長其ノ他ノ機關

第三章 管長其ノ他ノ機關

第一節 管長

第三章 管長其ノ他ノ機關 第一節 管長

一 選定ノ方法

イ 選舉資格者

第二十二條 管長ハ選舉ニ依リ之ヲ定ム

第二十三條 管長選舉ノ選舉資格者ハ本派ノ住職及教會主管者トス但兼務住職又ハ兼務教會主管者トシテハ此ノ限ニ非ラズ

ロ 被選舉資格者

第二十四條 管長選舉ノ被選舉資格者ハ住職又ハ教會主管者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者タルコトヲ要ス

一 本派檀林住職

二 本派教級中ニ於ケル中僧正以上ノ者

三 本派學階中ニ於ケル勸學又ハ教階中ニ於ケル司監ノ稱號ヲ有スル者

第二十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ管長選舉ノ選舉資格及被選舉資格ヲ有セズ

一 宗制ノ定ムル所ニ依リ降級以上ノ懲戒處分ヲ受ケ特免セラレザル者又ハ停權中ノ者

二 刑事被告人トナリ未決中ノ者

三 破産者ニシテ復權ヲ得ザル者

第二十六條 管長選舉ノ選舉長ハ宗務長ヲ以テ之ニ充ツ

但宗務長事故アルトキハ第八十二條第二項ヲ準用ス

第二十七條 管長選舉ヲ行ハントスルトキハ選舉長ハ選舉期日ヲ定メ其ノ期日ノ三十日前

ニ之ヲ派内ニ告示ス

ハ 選舉長

ニ 選舉ノ發令

ホ 選舉會場

二 選舉人名簿

イ 名簿ノ調製

但再選舉ノ場合ニ於ケル期日ハ其ノ都度之ヲ定ム

第二十八條 管長選舉ノ選舉場ハ宗務所ヲ以テ之ニ充テ選舉事務従事者ハ宗務所役員及職員中ヨリ選舉長之ヲ任命ス

第二十九條 選舉長ハ宗務支所長ヲシテ選舉發令日ヲ現在ニ依リ發令日ヨリ七日以内ニ當該管内ノ選舉資格者ヲ調査シテ選舉人名簿ヲ調製セシムベシ但宗務支所長事故アルトキハ宗務支所副長之ニ當ル

選舉人名簿ニハ選舉人ノ住所、氏名及寺院又ハ教會名ヲ記載スベシ

第三十條 宗務支所長ハ五日間ノ縦覽期日ヲ定メ選舉人名簿ヲ宗務支所ニ於テ縦覽ニ供スベシ

宗務支所長ハ必要アリト認メタルトキハ前項ノ縦覽場所ヲ其ノ管内ニ於テ他ニ指定スルコトヲ得

宗務支所長ハ縦覽開始ノ日ヨリ少クトモ二日前ニ縦覽ノ場所ヲ管内ニ告示スルモノトス

第三十一條 選舉人ハ選舉人名簿ニ脱漏又ハ誤載アリト認メタルトキハ縦覽期日内ニ限リ其ノ理由書及證憑ヲ具シ宗務支所長ニ修正ノ申立テヲ爲スコトヲ得

第三十二條 宗務支所長前條ノ申立ヲ受ケタルトキハ其ノ理由書及證憑ヲ調査シ其ノ理由アルモノハ直ニ修正ヲ爲シ其ノ申立人及關係人ニ通知シ併テ之ヲ告示シ其ノ申立ヲ正當

ハ 異議申立

ロ 閱覽

ニ 確定

ナラズト決定シタルトキハ其ノ旨ヲ申立人ニ通知スベシ

第三十三條 選舉人名簿ハ縦覽期日經過後三日ヲ以テ確定ス

第三十四條 宗務支所長ハ選舉人名簿ニ通ヲ調製シ一通ヲ直ニ宗務長ニ送達スベシ

第三十五條 再選舉ヲ行フ場合ニ於ケル選舉人名簿ハ前條ノ選舉人名簿ヲ用フ

第三十六條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行ヒ投票ハ單記無記名トシ一人一票トス

第三十七條 投票用紙、投票用封皮及投票用封筒ハ宗務所ニ於テ別紙第一號様式ニ依リ之ヲ作成ス

宗務長ハ選舉人名簿ニ依リ投票送達簿ヲ作成シ投票用紙、投票用封皮及投票用封筒ヲ選

舉期日十二日前迄ニ書留郵便ヲ以テ宗務支所長ニ送達ス

第三十八條 宗務支所長ハ前條ノ投票用紙、投票用封皮及投票用封筒ヲ受領シタルトキハ

其ノ枚數等ヲ精査シ直ニ宗務長ニ受領證ヲ差出スベシ

前項ノ投票用紙ニ毀損又ハ枚數ニ不足アルトキハ宗務支所長ハ受領後三日以内ニ理由書

ヲ具シ宗務長ニ追加ノ請求ヲ爲スベシ

第三十九條 宗務支所長ハ宗務長ヨリ送達サレタル投票用紙、投票用封皮及投票用封筒ヲ

受領シタル日ヨリ三日以内ニ選舉人名簿ニ依リ其ノ管内選舉人ニ配布スベシ

前項ノ發送年月日及其ノ數ハ送付簿ニ記載スベシ

三 投票

イ 投票用紙

ロ 投票ノ方法

ハ 選舉立會人

第四十條 選舉人ハ投票用紙ノ配布ヲ受ケタルトキハ投票用紙ニ被選舉人ノ氏名ヲ記載シ投票用封皮ニ依リ之ヲ嚴封シ更ニ投票用封筒ニ依リ書留郵便ヲ以テ選舉期日迄ニ到着スル様差出スベシ

但本人持參提出スルモ妨グズ

第四十一條 選舉長ハ選舉期日十日前迄ニ選舉人中ヨリ本人ノ承諾ヲ得テ選舉立會人三名以上五名以内ヲ指定スベシ

前項ニ依リ指定セラレタル選舉立會人ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第四十二條 選舉長ハ投票受理簿ヲ作り投票ノ到着順ニ到着月日及番號ヲ記入割印シ投票函ニ投入ス

投票函ハ二重錠前トシ外蓋ノ鍵ハ選舉長、内蓋ノ鍵ハ選舉立會人中抽籤ヲ以テ定メラレタル者之ヲ保管ス

第四十三條 投票ノ投函ハ選舉長ニ於テ選舉立會人立會ノ上選舉期日七日前ヨリ選舉期日ニ至ル迄毎日午前八時ヨリ午後六時迄之ヲ行フ

但前項ノ期間前ニ到着シタル投票ハ選舉長ニ於テ之ヲ保管シ最初ノ投函開始ノ際之ヲ受理投函シ時間外ニ到着シタル投票ハ選舉長ニ於テ之ヲ保管シ次ノ投函開始ノ際之ヲ受理投函スルモノトス

第四十四條 選舉人ハ投票發送後ハ如何ナル事由アリト雖之ヲ取戻シ又ハ取消スルコトヲ得ズ

第四十五條 選舉人ハ何人ニ對シテモ正當ノ事由ナクシテ被選舉人ノ氏名ヲ陳述スルノ義務ナシ

第四十六條 開票ハ選舉場ニ於テ選舉期日ノ翌日午前十時ヨリ選舉立會人立會ノ上選舉長之ヲ行フ

第四十七條 選舉人ハ選舉長ノ承諾ヲ得テ選舉開票ヲ參觀スルコトヲ得但選舉ヲ妨害シ若ハ妨害ヲ爲ス虞アリト認ムルトキハ選舉長ハ退場ヲ命スルコトヲ得

第四十八條 選舉長ハ選舉立會人ト共ニ先ヅ投票受理簿ト照合シ受理投票ノ總數ヲ計算シタル後投票ヲ開封シ所定ノ用紙、封皮及用紙封筒ナリヤヲ審査スベシ

投票ノ效力ニ關シ疑義アルトキハ選舉長ハ選舉立會人ノ意見ヲ徵シ選舉長之ヲ決シ被選舉者毎ニ得票總數ヲ計算スベシ

イ 投票ノ有
效無効

第四十九條 左ノ投票ハ無効トス

一 所定ノ用紙ヲ用ヒザルモノ

二 被選舉資格ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

三 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ

四 被選舉人ノ何人ナリヤヲ確認シ難キモノ但誤字ニナルモ之ヲ認識シ得ベキモノハ此ノ限ニ在ラズ

五 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但身分及敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

六 選舉期日後ニ到着又ハ持參シタルモノ

第五十條 選舉長ハ開票期日ニ至リ天災其ノ他避クベカラザル事故ニ依リ開票ヲ行フコト能ハザルトキハ其ノ事故止ミタル日ノ翌日之ヲ行フ

第五十一條 有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス得票同數ナルトキハ教級ノ高キ者ヲ採リ教級同ジキトキハ學階ニ依リ學階同ジキトキハ

教階ニ依リ教階同ジキトキハ年長者ヲ採リ生年月日同ジキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但當選者ハ有權者總數ノ三分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

第五十二條 當選者定リタルトキハ選舉長ハ遲滞ナク當選者ニ通知スベシ

第五十三條 當選者前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ日ヨリ五日以内ニ當選承諾書ヲ選舉長ニ差出スベシ

前項ノ期間内ニ當選承諾書ヲ提出セザルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第五十四條 當選者當選ヲ辭シタルトキ又ハ被選舉權ヲ失ヒタルトキハ次點者ヲ以テ當選

ロ 當選人ノ
決定

者トス

但前項ノ場合ハ最多數ヲ得タル者ノ三分ノ二以上ノ有效投票アルコトヲ要ス

第五十五條 再選舉ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ行フ

一 次點者當選ヲ辭シタルトキ

二 當選者ナキトキ

三 當選者失格シタルトキ

第五十六條 當選者當選承諾書ヲ提出シタルトキハ宗務長ハ直ニ其ノ氏名ヲ派内ニ告示スベシ

第五十七條 選舉人、被選舉人ニシテ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アル場合ハ告示ノ日

ヨリ七日以内ニ管長ニ異議ノ申立テヲ爲スコトヲ得

管長前項ノ申立ヲ受ケタルトキハ七日以内ニ資格審査會ノ議ニ付シテ之ヲ裁決シ申立人

ニ通知スベシ

前項ノ裁決ニ對シテハ不服ノ申立ヲ爲スコトヲ得ズ

第五十八條 前條ノ場合ニ於テ全部無効ノ裁決ヲ爲シタルトキハ再選舉ヲ行ヒ一部無効ノ

場合ニ於テハ其ノ當選ノ效力ニ影響ヲ生ゼザル限り再選舉ヲ行ハズ

第五十九條 選舉長選舉終了シタルトキハ選舉錄二通ヲ作成シ選舉立會人ト共ニ連署捺印

五 選舉又ハ當選ニ對スル異議ノ申立及審査

六 選舉錄

シ其ノ一通ヲ管長ニ提出スベシ

第六十條 選舉錄ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 開票ノ顛末

二 有權者ノ總數

三 投票總數

四 無効投票總數

五 有效投票總數

六 當選者得票數及氏名

七 次點者得票數及氏名

第六十一條 選舉長選舉終了シタルトキハ投票用紙、投票用封皮、投票用封筒及選舉錄ヲ

宗務所ニ引繼ギ宗務所ニ於テ之ヲ次期選舉迄保存スベシ

第六十二條 宗務支所長又ハ宗務長ハ管長選舉ニ關シ第六十四條ノ行爲ヲ爲シタル者アリ

ト認メタルトキハ其ノ詳細ナル事情ヲ調査シ證據書類ヲ添附シ管長ニ具申スベシ

第六十三條 管長前條ノ具申ヲ受ケタルトキハ懲戒審査會ノ議ニ付シ懲戒ニ處スルコトヲ得

第六十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ停權、降級、免職又ハ除籍ニ處ス

七 選舉ノ懲戒

- 一 詐術ヲ用ヒテ選舉人名簿ニ登録セシメタルトキ
- 二 正當ノ理由ナクシテ選舉人ノ投票ニ干涉シタルトキ
- 三 演説又ハ印刷物若ハ其ノ他ノ方法ニ依リ本條ニ掲グル非違ヲ爲サシムル目的ヲ以テ教唆、煽動シタルトキ
- 四 當選ヲ得又ハ得シムル目的ヲ以テ被選舉人ノ身分經歷ニ關シ虚偽ノ事項ヲ吹聴シタルトキ
- 五 當選ヲ得シメザル目的ヲ以テ被選舉人ノ身分經歷ニ關シ虚偽ノ事項ヲ吹聴シタルトキ
- 六 投票ヲ偽造シ又ハ其ノ投票數ヲ増減シタルトキ
- 七 選舉長又ハ選舉立會人ニ暴行若ハ脅迫ヲ加ヘ又ハ開票場ヲ騷擾シ其ノ他選舉關係書類及投票函ヲ抑留毀壞若ハ奪取シタルトキ
- 八 選舉人、被選舉人、選舉事務従事者又ハ當選者ニ對シ暴行、脅迫若ハ威壓ヲ加ヘタルトキ
- 九 選舉事務ニ關係アル役員、職員ニシテ故意ニ職務ノ執行ヲ怠リ又ハ職權ヲ濫用シテ選舉ノ行爲ヲ妨害シタルトキ
- 十 前號ノ行爲ニ因リテ投票又ハ選舉ヲ無効ナラシメタルトキ

十一 選舉立會人正當ノ事由ナクシテ其ノ義務ヲ行ハザルトキ

十二 選舉立會人故意ニ其ノ義務ヲ缺キタルニ因リ投票又ハ選舉ヲ無効ナラシメタルトキ

第六十五條 前條ノ懲戒處分ノ時效ハ其ノ行爲ヲ爲シタルトキヨリ一年ヲ經過スルニ因リテ完成ス

第六十六條 第六十三條ノ懲戒處分及其ノ手續ニ付テハ第四百六十六條乃至第四百八十三條ヲ準用ス

八 就任ノ手續

第六十七條 當選者當選ノ承諾ヲ爲シタルトキハ宗務長ハ直ニ就任ノ手續ヲ爲スベシ

第六十八條 管長就任シタル場合ハ宗務長ハ之ヲ派内ニ告示スベシ

第六十九條 管長辭職セントスル時ハ宗務長ヲシテ後任管長ヲ選舉セシメ其ノ就任ト共ニ交代ス

九 管長ノ職務
權限

第七十條 管長ノ職務權限左ノ如シ

- 一 教義ノ正否ヲ裁定ス
- 二 宗會及參事會ヲ招集シ其ノ開會、閉會、停會、會期延長及解散ヲ命ズ
- 三 宗會ノ議決ニシテ本派ニ不利ナル事項ト認メタルトキハ顧問會ノ議ヲ經テ停止スルコトヲ得

- 四 宗會ノ議決ヲ經テ宗制ノ改廢ヲ爲シ之ヲ施行ス
- 五 宗制ヲ施行スル爲又ハ教學興隆若ハ本派内ノ秩序保持ノ爲必要ナル令達訓示ヲ發スルコトヲ得但令達、訓示ヲ以テ宗制ヲ變更スルコトヲ得ズ
- 六 教育、布教及儀式ヲ總轄ス
- 七 度牒ヲ授與シ法脈及曼茶羅ヲ相承ス
- 八 教師ヲ任命ス
- 九 教師ノ學階及教階ヲ授與ス
- 十 法服用ヲ許可ス
- 十一 宗制ノ定ムル處ニ依リ役員、職員、住職、教會主管者及其ノ代務者、宗教結社ノ代表者及布教者ノ任免又ハ僧侶ノ免許、教師ノ進退ヲ行フ
- 十二 宗制ノ定ムル處ニ依リ褒賞懲戒ヲ行ヒ懲戒處分ヲ受ケタル者ニ對シ特免、減戒、赦免及分限ノ復得ヲ爲スコトヲ得
- 十三 宗會ノ議決ヲ經テ寺院、教會、教師及僧侶ニ對シ宗費ヲ賦課徵收ス
- 十四 教師及僧侶ノ請願ニ裁決ヲ與フ
- 十五 寺院、教會、僧侶、檀徒及信徒間ノ紛議ヲ和解シ又ハ裁定ス

第二節 管長ノ代務者
一 置クベキ場合

- 二 資格、選定ノ方法
 - 三 就任ノ手續
 - 四 解任
- 第三節 宗務本所

- 十六 審査會、調査會ヲ招集シ審査又ハ調査ヲ命ズ
 - 十七 寺院規則、教會規則ノ制定、變更又ハ宗教結社ノ設立ヲ承認ス
 - 十八 寺院及教會ノ財産ヲ監督ス
- 第一節 管長ノ代務者
- 一 管長關ケタルトキ
 - 二 管長三月以上其ノ職務ヲ行フコト能ハザルトキ
 - 七十二條 前條第一號ノ場合ハ宗務長ハ之ヲ宗務所會ニ諮リ顧問中ヨリ推薦ス前條第二號ノ場合ハ管長ハ顧問中ヨリ之ヲ選定ス
 - 七十三條 前條ニ依リ管長代務者決定シタルトキハ宗務長ハ直ニ就任ノ手續ヲ爲スベシ
 - 七十四條 管長代務者就任シタルトキハ宗務長ハ直ニ其ノ旨派内ニ告示スベシ
 - 七十五條 第七十一條第一號ノ管長代務者ハ管長關ケタル日ヨリ五十日以内ニ宗務長ヲシテ後任管長ノ選舉ヲ行ハシムベシ
 - 七十六條 管長就任シタルトキ又ハ管長自ラ其ノ職務ヲ行ヒ得ルニ至リタルトキハ管長代務者ハ直ニ退任ス

第三節 宗務本所

一 事務所ノ名
二 役員、職員
ノ種類及員
數

第七十七條 本派ノ事務所ヲ淨土宗西山光明寺派宗務所(以下單ニ宗務所)ト稱ス
第七十八條 宗務所ニハ左ノ役員及職員ヲ置ク

宗 務 長	一 名
教 學 部 長	一 名
財 務 部 長	一 名
職 員	

教 學 部 主 事	二 名
財 務 部 主 事	一 名
書 記	若 干 名

イ 選 任 方 法
ロ 資 格

第七十九條 宗務長ハ本派寺院住職中ヨリ宗會ニ於テ宗會議員ノ選舉ニ依リ其ノ當選者ニ就キ管長之ヲ任命ス
宗會ニ於テ選舉シ得ザルトキハ管長ハ前項ノ資格者中ニ就キ適任ト認メタル者ヲ特ニ任命スルコトヲ得
第八十條 部長ハ本派寺院住職中ニ就キ宗務長ノ推薦ニ依リ管長之ヲ任命ス
主事ハ教師中ニ就キ宗務長ノ推薦ニ依リ管長之ヲ任命ス

ハ 任 期

書記ハ僧侶中ニ就キ管長ノ承認ヲ得テ宗務長之ヲ任命ス
第八十一條 宗務長ハ必要ニ依リ管長ノ承認ヲ得テ臨時雇員ヲ任命スルコトヲ得
第八十二條 宗務長及部長ノ任期ハ四年トシ再任ヲ妨グズ
宗務長任期中ニ於テ闕ケタルトキハ管長ハ上席部長ヲシテ宗務長事務ヲ取扱ハシム
此ノ場合ニ於ケル宗務長ノ選舉ハ次期宗會ニ於テ之ヲ行フ
第八十三條 宗務長ハ管長ノ命ニ依リ各部ノ事務ヲ總理ス

三 役員、職員
ノ職務權限

但宗務長事故アルトキハ上席部長ヲシテ代理セシム
第八十四條 部長ハ宗務長ノ命ニ依リテ其ノ主管ノ事務ヲ擔任ス
第八十五條 主事ハ宗務長又ハ主管部長ノ命ニ依リテ事務ヲ處理ス
第八十六條 書記ハ上司ノ指揮ヲ受ケ事務ニ從事ス
第八十七條 宗務長又ハ部長退任シタルトキハ後任者ノ就任スル迄其ノ職務ヲ行フモノトス 但懲戒處分ニ因リ退任シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
第八十八條 宗務所ニ左ノ部、課ヲ置ク

四 宗務所ノ部
課

教 學 部	
一 監 正 課	
二 教 學 課	

三 庶務課

財務部

一 會計課

二 特別會計課

第八十九條 各部課ノ宗務分掌ヲ定ムルコト左ノ如シ

教學部

監正課

一 宗制、令達、訓示等ニ關スル事項

二 役員及職員任免、委囑ニ關スル事項

三 住職及教會主管者並其ノ代務者、宗教結社代表者任免ニ關スル事項

四 教師任免ニ關スル事項

五 學階、教階授與ニ關スル事項

六 法服着用ニ關スル事項

七 法脈相承ニ關スル事項

八 僧籍及改名ニ關スル事項

九 褒賞懲戒及請願ニ關スル事項

五 重ナル處務方法

十 托鉢免許ニ關スル事項

十一 寺院、教會及檀信徒ノ紛争ニ關スル事項

教學課

一 教義ノ宣布及儀式法要ノ執行ニ關スル事項

二 管長布教ニ關スル事項

三 特派布教ニ關スル事項

四 巡回布教ニ關スル事項

五 特殊布教ニ關スル事項

六 開教地布教ニ關スル事項

七 地方布教ニ關スル事項

八 教學講習會ニ關スル事項

九 各種講習會ニ關スル事項

十 西山専門學校ニ關スル事項

十一 西山尼衆教習所ニ關スル事項

十二 西山高等女學校ニ關スル事項

十三 修德高等女學校ニ關スル事項

- 十四 檢定試験ニ關スル事項
- 十五 選拔生ニ關スル事項
- 十六 教師及布教師養成ニ關スル事項
- 十七 宗報及圖書ノ編纂刊行ニ關スル事項
- 十八 公益事業ニ關スル事項

庶務課

- 一 管長事務報告ニ關スル事項
- 二 重要ナル印章保管ニ關スル事項
- 三 諸官衙並他宗派トノ交渉ニ關スル事項
- 四 選舉ニ關スル事項
- 五 宗會及其ノ他ノ諸會議ニ關スル事項
- 六 宗務支所事務及宗務支所役員ノ進退ニ關スル事項
- 七 僧籍臺帳及其ノ整理ニ關スル事項
- 八 法類及法類總代ニ關スル事項
- 九 檀信徒總代ニ關スル事項
- 十 辭令發送ニ關スル事項

財務部

會計課

- 十一 承認書、意見書等下附ニ關スル事項
 - 十二 寺院教會設立合併移轉解散ニ關スル事項
 - 十三 宗教結社並所屬團體ニ關スル事項
 - 十四 書類ノ受理、發送ニ關スル事項
 - 十五 年中行事表作製ニ關スル事項
 - 十六 統計ニ關スル事項
 - 十七 記録ニ關スル事項
 - 十八 他部課ニ屬セザル事項
- 一 豫算編成及決算ニ關スル事項
 - 二 宗費賦課徵收ニ關スル事項
 - 三 金錢出納ニ關スル事項
 - 四 各種義納金並手数料ニ關スル事項
 - 五 寺院、教會等級査定ニ關スル事項
 - 六 本派並總本山光明寺財產管理ニ關スル事項

- 七 寺院教會ノ財産管理並財産ノ移動ニ關スル事項
 - 八 寄附金ニ關スル事項
 - 九 物品調度並保管ニ關スル事項
 - 十 宗務支所ノ會計監督ニ關スル事項
- 特別會計課

- 一 別途會計ニ關スル事項
- 二 教學資金ニ關スル事項
- 三 保管金ニ關スル事項
- 四 其ノ他會計ニ關スル事項

第九十條 宗務所役員及職員ノ服務規定ニ關スル事項ハ令達ヲ以テ之ヲ定ム
第九十一條 宗務所ニハ左ノ表簿ヲ備フベシ

- 一 宗制、其ノ他ノ規則
- 二 令達、訓示、告示等
- 三 管長、宗務所役員、職員、宗務支所長、宗務支所副長、宗務支所部長、宗會議員、顧問、學校職員、布教師及其ノ他ノ職ニ在ル者ノ名簿及履歷書
- 四 寺院、教會、宗教結社、其ノ他所屬團體ノ名簿

七表簿

六 宗務所會

- 五 教師、僧侶ノ名簿及履歷書
 - 六 住職、教會主管者、其ノ代務者、宗教結社代表者、教師、僧侶ノ任免及承認其ノ他ノ進退ニ關スル書類
 - 七 教師檢定ニ關スル書類
 - 八 教師ノ養成及教養機關ニ關スル書類
 - 九 宗制所定ノ議決機關及諮問機關ノ議事録
 - 十 公益事業ニ關スル書類
 - 十一 豫算書及決算書
 - 十二 收入簿、支出簿及證憑書類
 - 十三 官公署、他宗派、本派宗務支所トノ往復書類
 - 十四 財産目錄、資産臺帳及負債臺帳
 - 十五 住職、教會主管者、宗教結社代表者ノ印鑑簿並檀徒總代又ハ信徒總代名簿
 - 十六 法類總代名簿及其ノ印鑑簿
 - 十七 寺院、教會ノ資産臺帳寫、負債臺帳寫、及財産目錄寫
 - 十八 其ノ他本所ニ必要ナル書類
- 第九十二條 宗務所ニ宗務所會ヲ置ク

イ 組織
ロ 會長
ハ 職務權限

宗務所會ハ宗務長及部長ヲ以テ組織ス
 宗務長ハ主事ヲシテ主管ノ事項ニ關シテ宗務所會ニ列席セシムルコトヲ得
 第九十三條 宗務所會ハ宗務長ヲ以テ會長トス
 第九十四條 宗務所會ノ議ニ付スベキ事項左ノ如シ
 一 宗制ノ改廢、豫算及決算ニ關スル事項
 二 令達、訓示、告示等ニ關スル事項
 三 役員及職員ノ任免、委嘱ニ關スル事項
 四 教師四級以上ノ任命ニ關スル事項
 五 選舉ニ關スル事項
 六 官公衙並他宗派ニ對スル重要ナル事項
 七 豫算外支出ニ關スル事項
 八 特命住職並准檀林以上ノ住職任命ニ關スル事項
 九 褒賞及懲戒ニ關スル事項
 十 總本山光明寺ニ關スル重要ナル事項
 十一 寄附金募集ニ關スル事項
 十二 各部ノ事務ニ於テ先例ナキ事項及宗務長ニ於テ必要ト認ムル重要事項

第四節 宗務所出張所

第四節 宗務所出張所
 一 事務所ノ名稱、所在地
 二 役員ノ員數、資格、選任方法
 三 役員ノ職務權限

第五節 宗務支所
 一 宗務支所ノ名稱區分

第九十五條 本派ノ宗務所出張所ヲ東京市日本橋區小傳馬町一丁目一番地ニ置ク
 第九十六條 宗務所出張所ニハ宗務所出張所長一名ヲ置ク
 宗務所出張所長ハ淨土宗西山禪林寺派、淨土宗西山深草派及本派ノ教師中ニ就キ管長ハ之ヲ委嘱又ハ任命ス
 第九十七條 所長ハ本派ト東京市ニ於ケル官廳等ノ聯絡事務ヲ掌ルモノトス
 第九十八條 所長ハ管長ノ命ニ依リ諸般ノ事務ニ付迅速確實ニ處理スベシ
 第五節 宗務支所
 第九十九條 第九條ノ布教區ニ準ジ左ノ如ク宗務支所ヲ置ク

- 一 東部宗務支所
 - 第一部 東京市、愛知縣名古屋市、海部郡、幡豆郡
 - 第二部 愛知縣一宮市、中島郡、丹羽郡、葉栗郡
 - 第三部 愛知縣半田市、知多郡
 - 第四部 三重縣
 - 第五部 岐阜縣、福井縣
- 第一部 京都府京都市、滋賀縣
- 第二部 京都府乙訓郡、久世郡、綴喜郡、相樂郡

二 中部宗務支所

- 第三部 京都府南桑田郡
- 第四部 大阪府大阪市、堺市、三島郡、豊能郡、南河内郡、北河内郡、兵庫縣神戸市、有馬郡、岡山縣

第五部 奈良縣

第六部 兵庫縣揖保郡

第七部 兵庫縣三原郡、津名郡

第一部 山口縣

第二部 福岡縣門司市、小倉市、企救郡

第三部 福岡縣京都郡、築上郡

第四部 福岡縣福岡市、八幡市、粕屋郡、宗像郡、遠賀郡、糸島郡

第五部 大分縣

第一部 大阪府泉南郡、和歌山縣和歌山市北部、海草郡北部

第二部 和歌山縣和歌山市南部、海南市、海草郡南部

第三部 和歌山縣有田郡

第四部 和歌山縣日高郡、西牟婁郡

四 南部宗務支所

第一百條 北海道教區及外地教區ハ宗務所ノ直轄トス

二 宗務支所ノ所在地

三 役員ノ種類、員數、資格

第一百一條 宗務支所ハ宗務支所長ノ住職寺院ヲ以テ之ニ充ツ

但宗務支所長必要アルトキハ豫メ管長ノ承認ヲ得テ宗務支所ヲ變更スルコトヲ得

第一百二條 宗務支所ニ宗務支所長、宗務支所副長各一名及第九十九條ノ各部毎ニ左ノ宗務支所部長ヲ置ク（以下單ニ支所長、支所副長、部長ト稱ス）

一 東部宗務支所 部長五名

二 中部宗務支所 部長七名

三 西部宗務支所 部長五名

四 南部宗務支所 部長四名

支所長ハ必要ニ依リ事務職員トシテ書記一名ヲ任命スルコトヲ得

第一百三條 北海道教區ニハ教務取締一名ヲ置ク

但教務取締役ハ教師ヲ以テ之ニ充テ管長之ヲ任命ス

第一百四條 支所長及支所副長ハ其ノ宗務支所管内ノ住職及教會主管者ノ互選ニ依リ當選

シタル者ニ就キ管長之ヲ任命ス

第一百五條 前條ノ互選方法ニ關シテハ管長選舉規定ヲ準用ス

第一百六條 部長ハ其ノ部内ノ住職及教會主管者ノ互選ニ依リ當選シタル者ニ就キ管長之

ヲ任命ス

部長選舉ノ選舉場ハ其ノ宗務支所ヲ以テ之ニ充テ選舉長ハ支所長ヲ以テ之ニ充ツ

任期

四 役員ノ職務
權限

- 第七條 前條ノ互選方法ニ關シテハ宗會議員選舉規定ヲ準用ス
- 第八條 支所長、支所副長及部長ノ任期ハ三年トシ再任ヲ妨グズ但任期滿限ニ達スルモ後任者ノ就任迄ハ其ノ職務ヲ行フモノトス
- 第九條 第一百四條ノ選舉ヲ行フ暇ナキトキハ管長ハ特ニ臨時支所長又ハ臨時支所副長ヲ任命スルコトヲ得
- 第十條 支所長ハ宗務長ノ監督ヲ受ケ宗制ノ範圍内ニ於テ管内ノ宗務ヲ處理ス支所副長ハ支所長ヲ輔佐シ支所長事故アルトキ之ヲ代理ス
- 部長ハ支所長ノ命ニ依リ部内ノ事務ヲ處理ス
- 第十一條 支所長ハ左ノ宗務ヲ處理ス
 - 一 儀式、法服及席次ノ監査ニ關スル事項
 - 二 諸願伺届ノ査閱及進達ニ關スル事項
 - 三 公文書類ノ傳達並保管ニ關スル事項
 - 四 地方布教ニ關スル事項
 - 五 地方教學講習會ニ關スル事項
 - 六 管内寺院、教會ノ財産及住職並教會主管者、宗教結社代表者又ハ僧侶ノ移動、其ノ他ニ關スル事項

五 豫算

- 七 宗費賦課金、義納金、手数料等ノ徵收ニ關スル事項
- 八 管内公益事業ニ關スル事項
- 九 管内ノ豫算、決算ニ關スル事項
- 十 管内寺院、教會ノ紛議、争訟ノ和解、調停ニ關スル事項
- 十一 管内住職、教會主管者、宗教結社代表者、教師、僧侶ヲ監督シ徒弟ノ教養及教師養成ノ振否ヲ調査シ之ガ獎勵ニ關スル事項
- 十二 當該宗務支所ノ財務ニ關スル事項
- 十三 前各號ノ外、宗制、令達、訓示等ニ依リ支所長ノ職務ニ屬スル事項
- 第十二條 各支所長ハ監督指導ノ爲其ノ管内寺院及教會ヲ毎年一回以上巡回スベシ但支所長事故アルトキハ支所副長若ハ部長ヲシテ巡回セシムルコトヲ得
- 第十三條 宗務支所ノ經費ハ宗務支所費ヲ以テ之ヲ支辨ス
- 第十四條 宗務支所ノ豫算ハ支所長ニ於テ之ヲ編成シ宗務支所會ノ同意及管長ノ承認ヲ受クベシ
- 第十五條 宗務支所ノ豫算ハ經常部、臨時部トシ之ヲ各款項目ニ區分シ各款ハ流用スルコトヲ得ズ
- 第十六條 支所長ハ管長ノ承認ヲ經テ宗務支所管内ニ對シ宗務支所費ヲ賦課シ徵收スル

六 賦課、徵收

コトヲ得
第一百十七條 宗務支所ノ賦課徵收及財務ニ關シテハ第四百九十二條乃至第五百十九條ヲ準用ス

七 決算

第一百十八條 宗務支所費ノ決算ハ豫算ト同一區分ニ依リ調製シ毎年度決算後二月内ニ宗務支所會ノ承認ヲ得管長ニ報告シ管内ニ告示スベシ

第一百十九條 支所長ハ毎年一月末日迄ニ前年ノ左記事項ヲ管長ニ報告スベシ

- 一 管内寺院、教會數、住職、教會主管者數、又ハ其ノ代務者數及宗教結社代表者數
- 二 管内寺院、教會ニ屬スル檀徒數、信徒數ノ總計、寺院、教會ニ對スル賦課總口數
- 三 管内ノ布教狀況
- 四 定時布教日數及臨時布教日數

八 表簿

第二十條 宗務支所ニハ左ノ表簿ヲ具フベシ

- 一 宗制、令達、訓示、其ノ他宗務所ヨリノ達示
- 二 支所長、支所副長、部長、書記等ノ名簿及履歷書
- 三 支所會ノ決議錄及議事錄
- 四 豫算書及決算書
- 五 歲入簿、歲出簿、其ノ他會計ニ屬スル表簿

九 支所會

イ 組織

ロ 會期

第一百二十一條 宗務支所ニ宗務支所會(以下支所會ト稱ス)ヲ置ク

第一百二十二條 支所會ハ支所長、支所副長及部長ヲ以テ組織ス

第一百二十三條 支所會ハ通常會及臨時會トシ其ノ會期、日數ハ支所長之ヲ定ム

通常會ハ毎年一回開會シ臨時會ハ支所長ニ於テ必要アリト認メタルトキ之ヲ招集シ開會ス

ハ 會長

ニ 職務權限

第一百二十四條 支所會ノ議長ハ支所長ヲ以テ之ニ充テ副議長ハ支所副長ヲ以テ之ニ充ツ

第一百二十五條 支所會ニ於テ議決スベキ事項左ノ如シ

- 一 宗務支所費ヲ以テ支辨スベキ事項
- 二 宗務支所ノ豫算、決算並賦課方法

三 宗制、令達及訓示ノ執行ニ關シ支所會ノ議決ヲ經ベキ事項
四 其ノ他重要ナル事項

但支所長ハ管内ノ實情ニ依リ文書ヲ以テ議決ニ代フルコトヲ得
第二百二十六條 支所會ニ於テ議決シタル事項ハ管長ノ承認ヲ得ルニ非ザレバ之ヲ執行スル
コトヲ得ズ

第六節 外地及外國ニ於ケル布教監督ノ機關

第六節 外地及外國ニ於ケル布教監督ノ機關

第二百二十七條 外地布教監督ハ宗務所ニ於テ之ヲ爲シ外國布教監督ハ事務所ヲ上海別院光明寺内ニ置ク

一 事務所ノ名稱及所在地

第二百二十八條 外地布教監督ノ管轄區域ハ朝鮮、樺太、臺灣及南洋トス

二 管轄區域

第二百二十九條 外國布教監督ノ管轄區域ハ滿洲、支那、佛印、蘭印、其ノ他ノ諸國トス

三 役員ノ種類、員數

第二百三十條 布教監督管轄區域ニハ監督一名、開教師若干名、補助員若干名ヲ置キ開教事業等ニ從事セシム

イ 資格、選任方法

第二百三十一條 布教監督ハ本派布教師ニシテ讚教以上ノ者ニ就キ開教師ハ本派布教師中補教以上ノ者ニ就キ管長之ヲ任命ス

開教補助員ハ本派僧侶及檀徒又ハ信徒中ノ適任者ニ就キ布教監督之ヲ任命ス

第二百三十二條 外國布教監督及開教師ノ任期ハ四年トシ再任ヲ妨ゲズ

ロ 任期

四 職務權限

第二百三十三條 布教監督ハ管長ノ命ニ依リ管轄區域ノ教務ヲ總理ス

開教師ハ監督ノ命ニ依リ教務ヲ掌理シ監督事故アルトキハ其ノ旨ヲ受ケ職務ヲ代行ス

開教補助員ハ開教師ノ命ニ依リ庶務ニ從事ス

第七節 諮問機關

第二百三十四條 本派ノ諮問機關ヲ顧問會トス

第二百三十五條 顧問會ハ顧問三名ヲ以テ組織ス

第二百三十六條 顧問ハ本派寺院住職ニシテ學德衆望、事理ニ通達シタル者ニ就キ管長之ヲ任命ス

第二百三十七條 顧問ノ任期ハ四年トシ再任ヲ妨ゲズ

第二百三十八條 顧問會ハ宗制ノ改廢、其ノ他本派ノ重要事項ニ關シ管長ノ諮問ニ應ジ意見ヲ答申ス

第二百三十九條 顧問會ハ顧問全員出席スルニ非ザレバ開會スルコトヲ得ズ

第八節 宗會

第八節 宗會

一 組織

第二百四十條 宗會ハ宗會議員ヲ以テ組織ス

イ 定數

第二百四十一條 宗會議員(以下單ニ議員ト稱ス)ハ定數ヲ十五名トシ選舉ヲ以テ之ヲ定ム

ロ 任期

第二百四十二條 議員ノ任期ハ四年トス

四 當選人

第二百五十二條 有效投票ノ多數ヲ得タルモノヨリ順次當選者トス
 第二百五十三條 當選者辭シタルトキ又ハ選舉資格ヲ失ヒタルトキハ次點者ヲ以テ當選者トス
 次點者尙辭シタルトキ又ハ當選者數當該選舉區ノ定數ニ充タザルトキハ再選舉ヲ行フ

第二百五十四條 選舉長ハ當選人當選ヲ承諾シタルトキハ選舉錄謄本ヲ支所長ヲ經テ管長ニ送付スベシ

第二百五十五條 管長前條ノ謄本ヲ受理シタルトキハ本人ニ當選狀ヲ授與シ派内ニ告示ス

第二百五十六條 議員ニシテ被選舉資格ヲ失ヒタルトキハ當然失格ス

第二百五十七條 宗會ハ毎年管長之ヲ招集シ宗務所ニ於テ開會ス

第二百五十八條 宗會ヲ開會セントスルトキハ管長ハ豫メ開會期日及會期ヲ定メ開會期日ニ十日前ニ派内ニ告示ス

第二百五十九條 管長宗會ヲ招集セントスルトキハ其ノ開會期日十四日前ニ議員ニ通告スベシ

但臨時宗會ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第六十條 臨時宗會ハ管長發意若ハ議員ノ三分ノ二以上ノ請求アリタルトキニ之ヲ招集スルコトヲ得

但臨時宗會ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

集スルコトヲ得

五 會議

イ 招集者

ロ 招集ノ手續

ハ 招集ノ時期

ニ 會期

ホ 臨時會

ハ 議長

副議長

1 選任方法

2 任期

3 職務權限

4 代理者

ト 開會

チ 議事

1 表決

2 公開

3 祕密會

第六十一條 宗會ニ議長一名、副議長一名及書記二名ヲ置ク

議長、副議長ハ議員ノ互選ニ依リ管長之ヲ任命ス

書記ハ議長之ヲ任命ス

第六十二條 議長、副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

議長ハ宗會ヲ代表シ議事ヲ整理ス

議長事故アルトキハ副議長之ヲ代理ス

議長、副議長共ニ事故アルトキハ議員ノ互選ニ依リ臨時議長ヲ定ム

第六十三條 宗會ハ議員定數ノ三分二以上出席スルニ非ザレバ開會スルコトヲ得ズ

第六十四條 宗會ノ開會ハ管長之ヲ行フ

第六十五條 宗會ノ議事ハ宗務長ヨリ提出シタル議案ヲ先ニスベシ

但管長ノ承認ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第六十六條 議員ハ三名以上ノ賛成ヲ得テ議案ヲ提出スルコトヲ得

第六十七條 議事ハ出席議員ノ過半數ヲ以テ決ス、可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第六十八條 宗會ノ議事ハ本派僧侶ニ限り之ヲ公開ス

但議長ハ宗務長ノ請求又ハ宗會ノ議決ニ因リ祕密會ト爲スコトヲ得

第六十九條 議員ハ宗會ノ議事中自己ノ住職セル寺院又ハ身上ニ關シテ其ノ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ズ

第七十條 宗會ハ議員ニシテ左ノ行爲アルトキハ議員ノ動議ニヨリ懲戒ニ處スルコトヲ得

- 一 議場ニ於テ議員ノ職責上過誤アルトキ
- 二 無届缺席ノトキ
- 三 管長ニ對シ不遜ノ言行ヲ爲シタルトキ
- 四 人身上ノ誹毀侮辱ヲ爲シタルトキ
- 五 正當ノ理由ナクシテ我意ヲ主張シテ議事ノ妨害ヲ爲シタルトキ
- 六 宗會ノ秩序ヲ紊ス行爲アルトキ
- 七 同一會期中譴責、陳謝三度以上ニ及ブトキ

第七十一條 議員ノ懲戒ハ左ノ如シ

- 一 譴責
- 一 陳謝
- 一 除名

第七十二條 除名ハ出席議員三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ決ス

第七十三條 議員ニシテ議場ニ於テ懲戒事犯ノ者アリト認ムルトキハ議長ハ宗會ノ議決ヲ經テ懲戒ヲ行フ

第七十四條 宗會ハ議長ノ指名又ハ議員ノ互選ニ依リ委員ヲ定メ議案ヲ審査セシムルコトヲ得

第七十五條 宗務所役員ハ何時タリトモ宗會又ハ委員會ニ出席シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第七十六條 宗會ハ住職、教會主管者及僧侶ノ請願及建議ヲ受ク請願及建議ハ委員ニ付託シ審査セシメ委員ノ採擇ニ依リ議決ス

第七十七條 宗會ニ於テ否認シタル請願及建議ハ其ノ會期中審議スルコトヲ得ズ宗會ハ請願又ハ建議ヲ採擇シ議決シタル場合ハ其ノ意見ヲ付シ管長ニ報告スベシ

第七十八條 宗會ハ宗制ノ範圍内ニ於テ議事整理ニ必要ナル細則ヲ定ムルコトヲ得

第七十九條 宗會ノ閉會ハ管長之ヲ行フ

第八十條 管長必要ト認メタルトキハ二日以内ニ於テ宗會ノ停會ヲ命ズルコトヲ得宗會停會ノ後再ビ開會シタルトキハ前回ノ議事ヲ繼續スベシ

第八十一條 宗會不當ノ議決ヲ爲サントスルトキ又ハ爲シタルトキハ管長ハ解散ヲ命ズルコトヲ得

第八十二條 宗會ニ於テ議決ニ至ラザル議案等ハ次回ニ繼續セザルモノトス

ヲ 解散

第百八十三條 宗會ノ解散ヲ命ジタルトキハ管長ハ新ニ議員ヲ選舉セシメ解散ノ日ヨリ二月以内ニ之ヲ招集ス

ワ 議事録

第百八十四條 議長ハ書記ヲシテ宗會ノ議事録ヲ作成セシメ會議顛末出席議員ノ氏名及議事ノ要項ヲ記載セシムベシ

第百八十五條 議事録ニハ議長又ハ副議長及議長ノ指名シタル議員二名以上ノ署名捺印ヲ要ス

四 職務權限

第百八十六條 宗會ノ議決ハ議長ヨリ宗務長ヲ經テ管長ニ報告スベシ

第百八十七條 議員ハ宗會ニ於テ發言シタル意見及表決ニ付キ宗會外ニ於テ責任ヲ負フコトナシ

イ 議決スベキ事項

第百八十八條 宗會ノ議決事項左ノ如シ

- 一 宗制ノ改廢及變更ニ關スル事項
- 二 豫算ニ關スル事項
- 三 賦課及徵收ニ關スル事項
- 四 教師及僧侶等ノ請願ニ關スル事項
- 五 寺格等級ノ昇降ニ關スル事項
- 六 宗派ノ合併解散ニ關スル事項

ロ 建議

第百八十九條 宗會ハ管長ニ對シテ建議ヲ爲スコトヲ得建議ハ文書ヲ以テ爲スベシ

ハ 諮問ノ答申

第百九十條 宗會ハ管長ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スベシ

第九節 參事會

第九節 參 事 會

第百九十一條 本派ニ參事會ヲ置ク

第百九十二條 參事會ハ左ノ參事會員ヲ以テ組織ス

宗會議長

參事員 四名

第百九十三條 參事員ハ宗會ニ於テ宗會議員ノ互選ニ依リ之ヲ定ム

第百九十四條 參事會ハ參事會員ノ互選ニ依リ會長一名ヲ置キ管長之ヲ任命ス 會長ハ議長トナリ參事會ヲ代表シ議事ヲ整理ス

イ 會長

ニ 組織

ロ 任期

第九十五條 參事會員ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

但任期滿了ニ達スルモ後任者就任ニ至ル迄ハ其ノ職務ヲ繼續スルモノトス

二 職務權限

第九十六條 參事會ノ職務權限左ノ如シ

一 豫算項目ノ流用ヲナス場合

二 本派並總本山光明寺ノ基本財産ノ轉換ニ關スル事項

三 令達案ニ關スル審査

四 宗會ノ議決ニ依リ參事會ニ委任セラレタル事項

第九十七條 參事會ノ招集、開會、閉會、又ハ會期ノ延長ハ管長之ヲ行フ

第九十八條 參事會ハ參事會員四名以上出席スルニ非ザレバ開會スルコトヲ得ズ

第九十九條 參事會ハ毎年一回管長之ヲ招集シ宗務所ニ於テ開會ス

但緊急必要アルトキハ臨時參事會ヲ招集スルコトヲ得

第一百條 參事會ノ議事ニ關シテハ宗會ノ議事細則ヲ準用ス

第一百一條 參事會員必要ト認ムルトキニ於テ宗務所ニ於ケル諸帳簿等ノ閱覽ヲ宗務長

ニ要求シ又ハ調査スルコトヲ得

第一百二條 管長參事會ヲ招集スル暇ナキトキハ文書ヲ以テ參事會員四名以上ノ同意ヲ

得テ議決ニ代フルコトヲ得

第十節 其ノ他

ノ機關

一 審査會

イ 名稱

第二百三條 參事會ノ議決事項ハ管長ノ裁決ヲ經テ其ノ效力ヲ發ス

參事會長ハ此ノ議決事項ノ要領ヲ其ノ都度文書其ノ他ヲ以テ議員ニ報告スベシ

第二百四條 參事會長ハ議事録ヲ作成シ參事會長及年長者タル參事會員一名ノ署名捺印

ヲ要ス

第十節 其ノ他ノ機關

第二百五條 本派ニ左ノ審査會ヲ置ク

一 資格審査會 教師、僧侶、役員、職員、議員、委員其ノ他ノ資格ヲ審査ス

二 褒賞懲戒審査會 教師、僧侶、檀徒及信徒ノ褒賞懲戒ヲ審査ス

三 寺格等級審査會 寺院又ハ教會ノ寺格等級ヲ審査ス

四 會計審査會 本派並總本山光明寺ノ會計ヲ審査ス

五 學階審査會 本派教師ノ論文著述學識等ヲ審査ス

六 布教師審査會 本派布教師ノ學德實績ヲ審査ス

第二百六條 前條各號ノ審査會ハ委員五名ヲ以テ組織シ任期ハ四年トス

委員ハ顧問、宗務所役員、西山專門學校職員、參事會員、宗會議員、布教師及本派寺院

任職中ニ就キ管長之ヲ任命ス

委員闕ケタルトキハ補闕委員ヲ任命ス補闕委員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

ロ 組織

審査會委員ハ互選ヲ以テ委員長一名ヲ定ムベシ
委員長ハ審査會ヲ掌理ス

委員長事故アル場合ハ委員中年長者之ヲ代理ス

第二百七條 審査會ハ委員過半数ヲ以テ議決ス可否同數ナルトキハ委員長之ヲ決ス

第二百八條 委員長ハ審査會ノ議決ノ結果ヲ管長ニ報告スベシ

第二百九條 本派ニ左ノ調査會ヲ置ク

二 調査會
イ 名稱

一 儀式調査會 本派寺院及教會ノ儀式法要等ニ關シ研究調査ス

二 宗寶調査會 寺院並教會ノ寶物中宗寶トシテ指定スベキモノニ關シ調査ス

三 布教調査會 教義ノ宣布狀況等ニ就キ研究調査ス

四 教育調査會 教師及僧侶ノ養成並其ノ機關ニ關シ研究調査ス

五 制度調査會 本派ノ制度ニ關シ調査ス

第二百十條 前條各調査會ハ管長ノ任命ニヨル三名ノ委員ヲ以テ組織シ、任期ハ四年ト

ス

第二百十一條 第二百五條第二項乃至第六項及第二百六條ヲ本調査會ニ之ヲ準用ス

第二百十二條 調査會委員長ハ其ノ職務ニ屬スル研究調査ノ結果ヲ管長ニ報告スベシ

ロ 組織

第四章 寺院、
教會其ノ他ノ

所屬團體

第一節 寺院

第四章 寺院、教會其ノ他ノ所屬團體

第一節 寺院

第二百十三條 寺院ハ佛祖ヲ安置シ教義ヲ宣布シ儀式ヲ執行ス

第二百十四條 寺院ハ

今上天皇陛下

ノ寶祚無窮ノ尊牌ヲ奉安スベシ

第二百十五條 寺院ハ轉宗、轉派又ハ分派ヲ爲スコトヲ得ズ

第二百十六條 寺院ヲ分チテ總本山及末寺トス

第二百十七條 左ノ寺院ヲ總本山トス

光明寺 京都府乙訓郡乙訓村大字粟生

第二百十八條 總本山ノ所在地タル粟生ハ宗祖立教開宗ノ靈地、本派法脈傳燈ノ淵源ニシ

テ特殊ノ由緒アル寺院トス

第二百十九條 末寺ノ寺格左ノ如シ

一 檀 林

二 准 檀 林

一 寺 格

三 准檀林格

四 香衣地

第二百二十條 總本山ニ準ズル特別ノ由緒アル檀林及檀林待遇寺院ヲ特別寺院ト謂フ
第二百二十一條 左ノ寺院ヲ特別寺院トス

檀林

一 正覺寺 名古屋市熱田區熱田傳馬町

二 曼陀羅寺 愛知縣葉栗郡宮田町前飛保

三 總持寺 和歌山市梶取

檀林待遇

一 長講堂 京都市下京區下寺町六條

二 淨橋寺 兵庫縣有馬郡鹽瀨村生瀨

第二百二十二條 末寺ノ等級左ノ如シ

等級

檀林 自一等 至三等

准檀林 自一等 至七等

准檀林格 自一等 至七等

香衣地 自一等 至七等

第二百二十三條 末寺ノ寺格及等級ハ令達ヲ以テ之ヲ定ム

第二百二十四條 檀林以下一般寺院ノ寺格、等級ハ二年毎ニ宗務所ニ於テ調査シタルモノ
ニ付寺格等級審査會ノ審査及宗會ノ議決ヲ經テ管長之ヲ定ム

第二百二十五條 寺格、等級ノ査定ハ左ノ各號ヲ斟酌シテ之ヲ定ム

一 由緒及堂宇並諸建物ノ完否

二 檀徒又ハ信徒ノ數

三 寺有財産ノ所有額

四 寺院現在ノ狀況

五 寺院所在ノ市、町、村ノ狀況

第二百二十六條 末寺ニシテ末寺ヲ有スルモノヲ本寺ト稱ス

第二百二十七條 本寺及末寺ニ於ケル契約又ハ寺院相互ノ間ニ於ケル慣例ハ本宗制ニ牴觸
セザル限り之ヲ認ム

第二百二十八條 法類トハ古來ヨリ法縁關係ヲ有スル寺院及住職自身ノ法脈關係ヲ有スル

縁類者ヲ謂フ

第二百二十九條 寺院ニハ法類總代一人ヲ置クベシ

法類總代ハ其ノ寺院所屬法類中ノ本務住職者ニ限ル 停權又ハ免職以上ノ懲戒處分ヲ受

三 法類

二 本末關係

ケタルトキ又ハ其ノ法類ノ僧籍關係ヲ離レタルトキハ法類總代ノ資格ヲ失フ
第二百三十條 法類總代ノ任期ハ三年トス

但任期滿了後三十日ヲ經過スルモ退任届出ヲ爲サザルトキハ繼續シタルモノト看做ス
第二百三十一條 住職交代シタルトキハ法類總代ヲ改任シ遲滞ナク宗務所ニ届出ヅベシ
死亡又ハ其ノ他ノ事由ニ因リタルトキ亦同ジ

第二百三十二條 新ニ寺院又ハ教會ヲ設立セントスルトキハ其ノ所屬スベキ法類及法類總
代ヲ遲滞ナク宗務所ニ届出ヅベシ

第二百三十三條 法類總代ハ法類間ノ和衷親睦ニ勗メ法類ガ住職セル寺院ノ寺務ニ關スル
協議ニ加ハリ必要ナル諸願届出書ニ連署スベシ

第二百三十四條 法類總代左ノ事項ニ付連署セントスルトキハ豫メ法類ノ賛成ヲ得テ爲ス
ベシ

- 一 住職推薦ノトキ
 - 二 寺院ノ創立、再興、移轉、合併及解散
 - 三 其ノ他重要ナル事項
- 第二百三十五條 法類總代ハ其ノ法類寺院寺務又ハ住職ノ進退ニ付法類又ハ檀徒若ハ信徒
ノ間ニ生ジタル紛議ニ對シ仲裁、調停ニ努ムルモノトス

四 設立ノ手續

第二百三十六條 法類總代ハ其ノ法類タル住職死亡シタルトキハ其ノ徒弟等ニ對シ保護ノ
途ヲ講ズベシ

第二百三十七條 寺院ヲ設立セントスルトキハ寺院規則ノ外左ノ事項ニ付豫メ管長ノ承認
ヲ得ベシ

- 一 由緒沿革
- 二 設立地
- 三 設立ニ要スル經費及其ノ支辨方法並設立當初二年ノ收支豫算及事業計畫
- 四 設立者及住職タルベキ者ノ履歷書、戶籍謄本及身分證明書
- 五 境内地位置及坪數(地形、面積、附近ノ狀況等ヲ示ス圖面添附)
- 六 境内建物ノ名稱、種類、用途、位置、構造及坪數(圖面添附)
- 七 別ニ土地又ハ建物ノ所有者アルトキハ其ノ氏名又ハ名稱及住所(同意書添附)
- 八 新築、改築又ハ増築ヲ爲スモノニ付テハ工事ノ計畫及竣功ノ豫定期日(設計書、仕
樣書及圖面添附)
- 九 財產目錄
- 十 不動産其ノ他重要ナル財産ニ關スル權利ノ所屬ヲ證スベキ書類
- 十一 設立場所ト同一市、町、村内ニ在ル本派寺院教會及其ノ附近ノ分布ノ狀況(圖面

添附)

五 寺院規則變更ノ手續

第二百三十八條 寺院ノ設立認可アリタルトキハ設立者ハ直ニ其ノ旨管長ニ届出ヅベシ
第二百三十九條 寺院規則ヲ變更セントスルトキハ左ノ事項ニ付キ豫メ檀徒總代又ハ信徒總代ノ同意ヲ得タル上管長ノ承認ヲ得ベシ

一 變更ノ條項ヲ示ス書類

二 理由 由 書

三 變更ニ付寺院規則所定ノ手續ヲ經タルコトヲ證スベキ書類

第二百四十條 前條ノ變更認可アリタルトキハ住職又ハ其ノ代務者ハ遲滞ナク左ノ事項ヲ具シ管長ニ報告スベシ

一 變更シタル條項

二 認可指令書ノ寫

第二百四十一條 寺院ヲ移轉セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ豫メ管長ノ承認ヲ得ベシ

一 第二百三十九條ノ書類

二 所屬スベキ檀徒又ハ信徒ノ概數

三 資産ノ 狀況

四 第二百三十七條第五號乃至第八號ノ書類

六 移轉ノ手續

第二百四十二條 前條ノ移轉完了シタルトキハ遲滞ナク移轉完了ヲ證スベキ書類ヲ具シ管長ニ報告スベシ

第二百四十三條 寺院ヲ合併セントスルトキハ檀徒總代又ハ信徒總代ノ同意及各住職連署ノ上左ノ書類ヲ具シ合併後存續シ又ハ合併ニ因リテ設立スル寺院ヨリ豫メ管長ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス

一 理由 由 書

二 由緒沿革ヲ示ス書類

三 合併後ノ寺院規則

四 本寺及總代ノ同意書

五 檀徒又ハ信徒三分ノ二以上ノ同意書

六 合併ニ付宗制及寺院規則所定ノ手續ヲ經タルコトヲ證スベキ書類

七 合併後ノ檀徒及信徒ノ數ヲ示ス書類

八 合併後ノ資産ノ狀況ヲ示ス書類

九 合併ニ要スル經費並合併當初二年ノ收支豫算及事業計畫ヲ示ス書類

十 合併後ノ境内地ノ位置及坪數ヲ示ス書類 (地形、面積、附近ノ狀況等ヲ示ス圖面添

附)

七 合併ノ手續

- 十一 合併後ノ境内建物ノ名稱、種類、用途、位置、構造及坪數ヲ示ス書類(圖面添附)
- 十二 別ニ土地又ハ建物ノ所有者アルトキハ其ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ示ス書類
- 十三 新築、改築又ハ増築ヲ爲スモノニ付テハ工事ノ計畫及竣功ノ豫定期日ヲ示ス書類
(設計書仕様書及圖面添附)
- 十四 財産目録
- 十五 宗教團體法施行令第二十六條所定ノ手續ヲ經タルコトヲ證スベキ書類
- 十六 不動産其ノ他重要ナル財産ニ關スル權利ノ所屬ヲ證スベキ書類
- 第二百四十四條 合併後存続スル寺院又ハ合併ニ因リテ設立シタル寺院ハ合併ニ因リテ消滅シタル寺院ノ財産ヲ承繼ス
- 第二百四十五條 寺院ノ合併ヲ了リタルトキハ各住職連署ノ上遲滞ナク證憑書類ヲ具シ管長ニ報告スベシ
- 第二百四十六條 寺院解散セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ豫メ管長ノ承認ヲ得ベシ
 - 一 理由書
 - 二 由緒沿革ヲ示ス書類
 - 三 本寺及總代、法類總代ノ同意書
 - 四 檀徒及信徒三分ノ二以上ノ同意書

八 解散ノ手續

九 財産管理及維持ノ方法
 イ 財産管理
 ロ 財産ノ種類

- 五 解散ニ付宗制及寺院規則所定ノ手續ヲ經タルコトヲ證スベキ書類
- 六 資産ノ狀況及處分方法ヲ示ス書類
- 第二百四十七條 解散シタル寺院ノ殘餘財産ハ合併ニ因リ解散ヲ爲シタル場合ヲ除クノ外總本山光明寺ニ歸屬スルモノトス
- 第二百四十八條 寺院解散シタルトキハ清算人ニ於テ遲滞ナク管長ニ届出ヅベシ
- 第二百四十九條 寺院左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ管長ハ其ノ寺院關係人ノ意見ヲ徴シ之ニ合併又ハ解散ヲ命ズルコトヲ得
 - 一 維持經營困難ト認ムルトキ
 - 二 堂宇ノ滅失後五年内ニ其ノ復興ニ着手セザルトキ
- 第二百五十條 寺院ノ財産ハ住職之ヲ管理ス
- 第二百五十一條 寺院ノ財産ヲ分チテ基本財産及普通財産トス
 - 基本財産
 - 土地、建物、公債、社債、現金、其ノ他之ニ準ズベキモノニシテ寺院規則ニ依リ基本財産ニ編入セラレタルモノ
 - 普通財産
 - 一 基本財産ヨリ生ズル收入

二 檀徒及信徒ヨリノ施入金
三 基本財産以外ノ財産

第二百五十二條 寺院ハ前條ノ區分ニ依リ財産ノ種類、品質、數量、由緒等ヲ記載シタル
資産臺帳三通ヲ調製シ檀徒總代若ハ信徒總代連署ノ上宗務支所及宗務所へ各一通ヲ送付
シ且ツ寺院ニ一通ヲ備へ置クベシ

第二百五十三條 基本財産ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ヲ除クノ外賣却、讓與又ハ擔保
ノ目的ト爲スコトヲ得ズ

- 一 公用徵收又ハ徵發ヲ受ケタルトキ
- 二 寺院ノ移轉又ハ合併ニ因リ特ニ必要ナルトキ
- 三 公益上又ハ特ニ必要止ムヲ得ザルトキ

前項各號ニ依リテ基本財産ヲ處分シ又ハ擔保ニ供セントスルトキハ豫メ管長ノ承認ヲ得
ルコトヲ要ス、借財又ハ保證ヲ爲サントスルトキ亦同ジ

第二百五十四條 寺院財産ニシテ地方長官ニ於テ保管スル財産臺帳ニ登録ヲ受ケタルモノ
ハ其ノ謄本ヲ添附シ宗務所ニ届出ヅベシ、變更又ハ抹消ノ登録ヲ爲シタルトキ亦同ジ

第二百五十五條 第二百五十二條ノ申請ヲ爲サントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ管長ニ提出
スベシ

ハ 財産臺帳
ノ登録
ニ 不動産又
ハ寺院財
産臺帳ニ

登録セラ
レタル財
産ヲ處分
シ又ハ擔
保ニ供ス
ルコト

一 土地ニ在リテハ其ノ地目、用途、面積、價格及所在ノ場所
二 建物其ノ他ノ工作物ニ在リテハ其ノ種類、用途、構造、面積、價格及其ノ所在ノ
場所

三 寶物又ハ公債、社債、株式其ノ他之ニ準ズベキモノニシテ基本財産ヲ構成スルモ
ノニ在リテハ種類、名稱、員數、品質、形狀、法量、作者、由來及種類、名稱、記
號番號、額面金額、拂込金額及管理方法

四 處分方法

五 相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

六 理由

財産ヲ擔保ニ供セントスルトキ

一 擔保權ノ種類及順位

二 擔保權ノ目的物ニ付前項第一號、第二號又ハ第三號ノ事項

三 被擔保債權

四 擔保權者ノ氏名又ハ名稱及住所

五 理由

六 其ノ他之ニ準ズベキ事項

ホ 借財又ハ
保證ヲ爲
スコト

借財ヲ爲サントスルトキ

- 一 金額
- 二 利率及期間
- 三 償還方法
- 四 借入先ノ氏名又ハ名稱及住所
- 五 擔保アルトキハ其ノ種類
- 六 理 由
- 七 其ノ他之ニ準ズベキ事項

保證ヲ爲サントスルトキ

- 一 主タル債務額及保證債務額
 - 二 保證ノ方法
 - 三 債權者及債務者ノ氏名又ハ名稱及住所
 - 四 連帶者アルトキハ其ノ氏名又ハ名稱及住所
 - 五 理 由
- 前四項ノ申請書ニハ總代ノ同意書ノ外左ノ書類ヲ添附スベシ
- 一 不動産ヲ處分シ又ハ擔保ニ供スル場合ニ在リテハ不動産登記簿ノ謄本又ハ抄本

ハ 豫算及決
算

- 二 借財又ハ保證ヲ爲ス場合ニ在リテハ資産及負債ノ狀況ヲ示ス書類
 - 三 寺院規則所定ノ手續ヲ經タルコトヲ證スベキ書類
- 第二百五十六條 前條ニ依リ財産ヲ處分シ若ハ擔保ニ供シ又ハ借財若ハ保證ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其ノ副本ヲ添附シ其ノ旨管長ニ届出ツベシ
- 第二百五十七條 住職ハ其ノ寺院災害等ニ依リ著シク損害ヲ蒙リタル場合ハ管長ニ報告スベシ
- 第二百五十八條 寺院ノ毎年度豫算ハ住職ニ於テ之ヲ編成シ檀徒總代又ハ信徒總代ノ同意ヲ得タル上決定ス

前項豫算決定シタルトキハ住職ハ直ニ支所長及管長ニ報告スベシ

第二百五十九條 豫算ハ經常部及臨時部ニ分チ之ヲ各款項目ニ區分シ歲入、歲出ノ目的ヲ明示スベシ

- 第二百六十條 豫算中各款ハ流用スルコトヲ得ズ
- 第二百六十一條 決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ調製スベシ
- 第二百六十二條 寺院ノ會計年度ハ寺院規則ノ定ムル所ニ依ル
- 第二百六十三條 寺院ハ毎年會計年度ノ始ニ於テ其ノ年度ノ豫算書ヲ年度終了後二月内ニ前年度ノ收支決算書ヲ調製シ管長ニ報告スベシ

ト 財産目録
ノ其ノ他一般
ノ監督
イ 境内地、
ノ境内建物
ノ管理

第二百六十四條 寺院ハ毎年財産目録ヲ調製シ收支決算書ト共ニ管長ニ届出ヅベシ

第二百六十五條 境内地ノ區域ヲ變更セントスルトキ又ハ境内地ノ著シキ模様換ヲ爲サン
トスルトキハ住職ニ於テ檀徒總代又ハ信徒總代ノ同意ヲ得タル上左ノ事項ヲ具シ豫メ管
長ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス

第二號乃至第四號ノ事項ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

一 理 由

二 區域ノ變更ニ付テハ其ノ計畫及坪數ノ増減

三 模様換ニ付テハ其ノ計畫

四 經費及其ノ支辨方法

五 別ニ土地所有者アルトキハ其ノ氏名又ハ名稱及住所

前項第二號及第三號ノ事項ニ付テハ境内地ノ地形面積、建物ノ配置、附近ノ狀況等ヲ示
ス圖面ヲ添附シ別ニ土地所有者アルトキハ其ノ同意書ヲ添附スベシ

第二百六十六條 境内地ハ寺院ノ目的以外ノ用ニ之ヲ供スルコトヲ得ズ

但公益ノ爲ニスル使用又ハ其ノ用途ヲ妨ゲザル限度ノ使用ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二百六十七條 前條但書ノ規定ニ依リ境内地ヲ寺院ノ目的以外ノ用ニ供セントスルトキ

ハ住職ニ於テ檀徒總代ノ同意ヲ得タル上左ノ事項ヲ具シ豫メ管長ノ承認ヲ得ルコトヲ要

ス

一 理 由

二 使用者ノ氏名又ハ名稱及住所

三 使用ノ個所及其ノ坪數(圖面添附)

四 使用ノ方法

五 使用ノ期限

六 使用料ノ定アルトキハ其ノ金額

第二百六十八條 寺院ノ境内建物ヲ新築、改築、増築若ハ除却セントスルトキ又ハ著シキ
模様換ヲ爲サントスルトキハ住職ニ於テ左ノ事項ヲ具シ檀徒總代又ハ信徒總代ノ同意ヲ
得タル上豫メ管長ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス

第三號乃至第六號ノ事項ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

一 理 由

二 建物ノ種類及用途

三 建物ノ位置、構造及坪數(圖面添附)

四 工事ノ計畫(設計書、仕様書及圖面添附)

五 竣功ノ期日

六 經費及其ノ支辨方法

七 別ニ建物所有者アルトキハ其ノ氏名又ハ名稱及住所

前項第七號ニ該當スル場合ニ於テハ建物所有者ノ同意書ヲ添附スベシ

第二百六十九條 第二百六十六條及第二百六十七條ノ規定ハ境内建物ニ付之ヲ準用ス

第二百七十條 第二百六十八條ノ規定ハ境内地ニ於ケル碑表及形像ニ付之ヲ準用ス

第二百七十一條 第二百六十五條乃至第二百七十條ニ依リ地方長官ノ認可ヲ受ケタルトキ

ハ認可ヲ證スベキ書類ヲ添付シ管長ニ届出ヅベシ

届出事項ニ變更ヲ生ジタルトキ亦同ジ

第二百七十二條 管長ハ寺院ニ對シ監督上必要アリト認メタルトキハ宗務所若ハ宗務支所

ノ役員又ハ職員ヲシテ境内、境内建物、表簿、物件等ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百七十三條 住職ハ三寶護持及法嗣ノ爲其ノ寺院ノ寺格ニ依リ在任中相應ノ徒弟ヲ養

成

成スベシ

第二百七十四條 徒弟養成及獎學ニ關シテハ令達ヲ以テ之ヲ定ム

第二百七十五條 寺院ハ其ノ實情ニ應ジ公益事業ヲ爲スコトヲ得

第二百七十六條 本派所屬ノ寺院、僧侶又ハ所屬團體ニシテ公益事業ヲ現ニ爲シ又ハ爲サ

ントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ管長ノ承認ヲ得ベシ

ハ 公益事業

一 所在地

二 名稱

三 經營ノ目的

四 代表者

五 職員ノ資格及組織

六 年度事業ノ概況

七 基本金及寄附金ノ額及其ノ有無

八 經費ノ支辨方法

九 年度收支決算書及次年度豫算書

前項各號ノ承認事項ニ付變更セントスルトキ亦同ジ

第二百七十七條 管長前條ノ届出ヲ受ケタルトキハ宗務長ヲシテ公益事業簿ニ登載セシム

ベシ

第二百七十八條 前條ノ登載ヲ了シタル公益事業ニ對シテハ宗會ノ議決ヲ經テ經費ノ一部

ヲ補助スルコトアルベシ

第二百七十九條 寺院ニ於テ訴願、行政訴訟ヲ提起セントスルトキハ檀徒總代若ハ信徒總

ニ 紛議、爭
訟ノ裁決

代ノ同意ヲ得豫メ管長ニ報告スベシ

ホ 寺院、教會ニ備フベキ表簿

- 第二百八十條 寺院相互間又ハ寺院及教會相互間ニ於テ紛議ヲ生ジタルトキハ住職、教會主管者及其ノ代務者ハ其ノ詳細ヲ支所長ニ具申シ指揮ヲ請フベシ
- 第二百八十一條 支所長前條ノ具申ヲ受ケタルトキハ調査ノ上和解若ハ調停ヲ爲スベシ
- 支所長和解若ハ調停成立セザルトキハ之ヲ管長ニ詳細上申シ裁決ヲ請フベシ
- 第二百八十二條 管長前條ノ上申ヲ受ケタルトキハ支所長ノ意見ヲ徴シタル上之ヲ裁決ス
- 前項ノ裁決ニ對シテハ異議ノ申立テヲ爲スコトヲ得ズ
- 第二百八十三條 寺院ニ備フベキ表簿左ノ如シ
 - 一 宗制、令達、訓示、告示等
 - 二 寺院規則
 - 三 住職、其ノ代務者其ノ他ノ機關ノ職ニ在ル者、教師及僧侶ノ名簿及履歷書
 - 四 教師ノ養成及教養機關ニ關スル書類
 - 五 檀徒、信徒及總代ノ名簿
 - 六 所屬團體ノ名簿
 - 七 境内地及境内建物ノ明細圖
 - 八 寺院規則所定ノ議決機關ノ議事録
 - 九 公益事業ニ關スル書類

第二節 教會

一 種類及等級

二 設立ノ手續

- 十 收入簿、支出簿及證憑書類
- 十一 官公署、宗務所、宗務支所及宗務支所部トノ往復書類
- 十二 過去帳、祠堂帳及寄附金簿等
- 十三 財産目錄、資産臺帳及負債臺帳
- 十四 本派寺院名簿

第二節 教會

- 第二百八十四條 教會ハ佛祖ヲ安置シ教義ヲ宣布シ儀式ヲ執行ス
- 第二百八十五條 教會ハ
 - 今上天皇陛下
 - ノ寶祚無窮ノ尊牌ヲ奉安スベシ
- 第二百八十六條 本派ノ教會ヲ分チテ法人教會及非法人教會トシ其ノ等級ヲ各一等ヨリ七等迄トス
- 第二百八十七條 教會ハ本派寺院、教會分布稀薄ノ箇所其ノ他特ニ必要ト認メタル地方ニ於テ之ヲ設立スルコトヲ得
- 但開教地布教區ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第二百八十八條 教會ノ名稱ニハ本派ノ名稱ヲ冠記スベシ

第二百八十九條 第二百三十七條乃至第二百七十二條ノ規定ハ教會ノ設立ノ手續、教會規則變更ノ手續、移轉ノ手續、合併解散ノ手續、法人教會ノ財産管理及維持ノ方法、其ノ他一般ノ監督ニ付之ヲ準用ス

三 教會規則變更、移轉、合併、解散、財産管理及維持

第二百九十條 非法人教會ニシテ永續維持ノ基礎確立シタルトキハ寺院又ハ法人教會ト爲スコトヲ得

四

法人ト爲ル場合ノ手續

第二百九十一條 法人ニ非ザル教會ガ法人ト爲ルコトノ認可ヲ申請セントスルトキハ信徒總代ノ同意ヲ得左ノ事項ヲ具シ豫メ管長ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス

一 第二百三十七條各號ノ書類

二 教會規則中變更ノ條項ヲ示ス書類

三 法人ト爲スコトニ付教會規則所定ノ手續ヲ經タルコトヲ證スベキ書類

第二百九十二條 法人教會ハ第二百八十三條ニ準ジ表簿ヲ備フベシ

第二百九十三條 管長ハ新設教會ニ對シ必要ト認ムルトキハ一時若ハ一定ノ期間中其ノ設立ノ費用ヲ補助スルコトアルベシ

第二百九十四條 教會ニ關スル細則ハ別ニ令達ヲ以テ定ムルコトヲ得

第三節 宗教結社

第三節 宗教結社

第二百九十五條 本派ノ教師及僧侶ハ左ノ事項ニ付豫メ管長ノ承認ヲ得テ宗教結社ヲ組織スルコトヲ得

一 名稱

二 事務所ノ所在地

三 教義、儀式及行事ニ關スル事項

四 安置佛等ノ稱號

五 組織ニ關スル事項

六 財産管理其ノ他ノ財務ニ關スル事項

七 代表者及布教者ノ資格及選定方法並履歷書

八 布教者ノ數及信徒ノ概數

九 布教所ノ位置並建物ノ名稱、種類、用途、構造、坪數及敷地坪數(圖面添附)

十 他ニ關係宗教結社アルトキハ其ノ名稱、事務所ノ所在地及代表者ノ氏名

第二百九十六條 宗教結社ノ代表者及布教者ハ教師ヲ以テ之ニ充テ宗務支所長ノ内申ニ依リ管長之ヲ任命ス

第二百九十七條 宗教結社ノ代表者ハ毎年一月末日限リ前年ノ事業ノ概況ヲ宗務所ニ報告スベシ

第二百九十八條 宗教結社ノ届出事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ代表者ハ直ニ管長ニ報告ス

第四節 其ノ他ノ所屬團體

第二百九十九條 宗教結社ニ關スル細則ハ令達ヲ以テ之ヲ定ム

第四節 其ノ他ノ所屬團體

第三百條 寺院及教會ハ信仰増進ノ目的ヲ以テ婦人會、青年會、念佛講、處女會、等ノ所屬團體ヲ設クルコトヲ得

第三百一條 寺院又ハ教會ハ其ノ所屬スル團體ノ名稱、所在地、目的、事業及組織等ヲ宗務所ニ届出ヅベシ

第五章 住職及教會主管者

第五章 住職及教會主管者 一 資格任命

第三百二條 本派所屬ノ住職、教會主管者及其ノ代務者ハ教師ヲ以テ之ニ充テ管長之ヲ任命ス

第三百三條 左記ニ該當スルモノハ住職、教會主管者及其ノ代務者タルコトヲ得ズ

- 一 宗制ニ依リ停權以上ノ懲戒處分ヲ受ケ復權ヲ得ザル者
- 二 禁錮以上ノ刑ニ處セラレ復權セザル者若ハ執行猶豫中ノ者
- 三 破産者ニシテ復權ヲ得ザル者
- 四 禁治産者又ハ準禁治産ノ宣告ヲ受ケ取消サレザル者

イ 總本山
ロ 檀林

五 其ノ他不具廢疾者、精神病者又ハ性行上著ルシキ瑕疵アル者

第三百四條 總本山住職ハ法主ト稱シ管長ヲ以テ之ニ充ツ

第三百五條 檀林住職ハ選舉ニ依リ其ノ當選者ニ就キ管長之ヲ任命ス

第三百六條 檀林住職選舉ノ選舉資格者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者タルコトヲ要ス

- 一 所屬末寺住職
- 二 當該寺院檀徒總代若ハ信徒總代
- 三 各宗務支所長
- 四 參事 會員
- 第三百七條 檀林住職選舉ノ被選舉資格者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者タルコトヲ要ス
 - 一 本派中ニ於ケル少僧以上ノ者
 - 二 學階中ニ於ケル已講以上ノ稱號ヲ有スル者
 - 三 教階中ニ於ケル准司監以上ノ稱號ヲ有スル者
- 第三百八條 檀林住職ノ選舉ニ關シテハ本章ニ別段ノ規定無キ限り管長選舉ニ關スル規定ヲ準用ス

但選舉人名簿ノ調製並投票用紙ノ配布ハ選舉長之ヲ行フ

第三百九條 再選舉ヲ爲シタルモ當選者及次點者共ニ其ノ當選ヲ辭シタルトキ又ハ各選舉

ハ 檀林待遇
寺院

人投票ヲ爲サザルトキハ管長ハ被選舉資格者中ニ就キ特ニ之ヲ任命スルコトヲ得
第三百十條 檀林待遇寺院住職ハ本派權大僧都以上ノ者若ハ學階得業又ハ教階讚教以上ノ
者ニ就キ管長之ヲ任命ス

ニ 一般寺院
任免

第三百十一條 准檀林以下一般寺院住職及教會主管者ハ左記ノ者ニ就キ管長之ヲ任命ス

准 檀 林 少僧都以上

准 檀 林 格 擬講 以上

香 衣 地 初講 以上

教 會 初講 以上

第三百十二條 住職又ハ教會主管者ニ任命セラレタル者ハ市、區、町、村長ノ證明書ヲ添
附シ印鑑届ヲ宗務支所及宗務所ニ提出スベシ

第三百十三條 准檀林以下一般寺院住職後任者ノ推薦ハ左ノ各號ニ依ルモノトス

一 其ノ寺院ノ徒弟

二 其ノ寺院ノ法類

第三百十四條 准檀林以下一般寺院住職退職セントスルドキハ住職ニ於テ其ノ後任者ヲ推
薦シ檀徒總代若ハ信徒總代ノ同意ヲ得本寺連署ヲ以テ管長ニ申請スルモノトス
前項ノ住職ナキトキハ前住職、前住職ナキトキハ其ノ寺院ノ法類總代ヨリ推薦ス

二 申請ノ手續

三 任期
四 職務權限

但懲戒處分ニ依リ住職關ケタル場合ハ支所長ヨリ特ニ後任者ヲ内申スルコトヲ得
第三百十五條 准檀林以下一般寺院ニシテ住職ヲ關キタルトキハ前條ニヨリ二月以内ニ住
職後任者ヲ推薦シ管長ニ申請スベシ
二月内ニ申請ヲ爲スコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ具シ十四日ヲ限度トシ延期ヲ出願ス
ルコトヲ得

第三百十六條 住職ニ任期ヲ付スル必要アル場合ハ寺院規則ニ依リ之ヲ定ムベシ

第三百十七條 住職ハ第四百六十六條ノ懲戒處分ニ非ザレバ其ノ職ヲ免ゼラルルコトナシ

第三百十八條 住職ハ毎年度終了後二月内ニ布教及法要執行ニ關スル実績ヲ管長ニ報告ス
ベシ

第三百十九條 住職ハ職務執行上支障ヲ來ス如キ副職又ハ忌避スベキ副業ヲ爲スコトヲ得
ズ

第三百二十條 住職死亡シタルトキハ七日以内ニ其ノ寺院ノ法類總代ヨリ管長ニ届出ヅベ
シ

第三百二十一條 住職ハ應召若ハ久シキニ亘ル病氣又ハ外國へ旅行セントスルトキハ遲滯
シ

第三百二十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ管長ハ住職ヲ特ニ任命スルコトヲ得

五 應召久敷ニ
亘ル、病氣
外國旅行等
ノ場合

應召久敷ニ
亘ル、病氣
外國旅行等
ノ場合

第三百二十一條 住職ハ應召若ハ久シキニ亘ル病氣又ハ外國へ旅行セントスルトキハ遲滯
シ
ナク管長ニ届出ヅベシ

第三百二十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ管長ハ住職ヲ特ニ任命スルコトヲ得

六 特命住職

七 兼務住職

- 一 懲戒處分ニ因リ免職セラレタルトキ
 - 二 檀林住職選舉ニ於テ第三百九條ニ依リタルトキ又ハ之ニ該當シタルトキ
 - 三 第三百十六條ノ期間内ニ住職任命ノ申請ヲ爲サザルトキ
 - 四 其ノ他管長ニ於テ必要ト認メタルトキ
- 第三百二十三條 寺院ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ兼務住職ヲ置クコトヲ得 但 特別寺院ハ此ノ限ニ在ラズ
- 兼務住職タルベキ者ノ資格及其ノ任命手續ニ付テハ第三百十一條乃至第三百十五條ヲ準用ス
- 一 住職ヲ闕キ本務住職ヲ置キ難キ事由アルトキ
 - 二 住職死亡シ又ハ病氣ニ因リ退任若ハ闕職トナリタル場合ニ於テ其ノ徒弟ガ五年以内ニ住職資格ヲ得ル見込アルトキ
- 第三百二十四條 兼務住職ノ任期ハ三年トシ兼務寺院ハ一寺院ニ限ル 但特別ノ事由ニ依リ管長正當ト認メタル時ハ再任ヲ妨ゲズ
- 第三百二十五條 兼務住職ニシテ本務住職ヲ免ゼラレタルトキハ當然其ノ職ヲ失フ
- 第三百二十六條 住職又ハ兼務住職ノ選定ニ付寺院關係者ノ間ニ異議ヲ生ジタルトキハ寺院關係者ヨリ第三百十五條第一項ノ期限内ニ當該支所長ニ調停ヲ求ムルコトヲ得

八 住職ノ代務者

- 前項ノ調停ニ依リ解決ヲ得ザルトキハ支所長ヨリ管長ニ裁決ヲ請フベシ
- 前項ノ裁決ニ對シテハ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ズ
- 第三百二十七條 管長ノ裁決ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ住職任命ノ出願ヲ爲サザルトキ又ハ其ノ他臨機ノ措置ヲ探ラザル場合ハ管長ニ於テ特ニ住職又ハ兼務住職ヲ任命スルコトヲ得
- 前項ノ場合其ノ寺院關係者ハ之ヲ拒否スルコトヲ得ズ
- 第三百二十八條 左ノ場合ニハ教師ヲ以テ住職代務者(以下代務者ト稱ス)ヲ置クコトヲ得
- 一 二月以上住職闕ケタルトキ
 - 二 住職久シキニ亘リ職務ヲ行フコト能ハザルトキ
 - 三 住職應召、徵用又ハ入營シタルトキ
- 第三百二十九條 總本山光明寺住職ノ代務者ハ管長代務者ヲ以テ之ニ充ツ
- 第三百三十條 代務者ハ左記ニ依リ管長之ヲ任命ス
- 一 第三百二十八條第一號ノ場合ハ宗務支所長ヨリ之ヲ内申ス
 - 二 第三百二十八條第二號及第三號ノ場合ハ住職ヨリ支所長ヲ經テ之ヲ内申ス
- 第三百三十一條 代務者ハ其ノ事由止ミタルトキハ直ニ退任ス
- 第三百三十二條 代務者就任又ハ退任シタルトキハ遲滞ナク管長ニ届出ヅベシ

教會主管者

第五章 住職及教會主管者

第三百三十三條 教會主管者ノ資格、任免、任期、職務權限及應召、久シキニ亘ル病氣、外國旅行等ノ場合ニ於ケル届出並主管者ノ特命、兼務主管者及代務者等ハ一般寺院住職ノ場合ニ於ケル規定ヲ準用ス

第六章 教師及僧侶

第六章 教師及僧侶

第一節 教師

一 資格

第一節 教師

第三百三十四條 教師トハ教級初講以上ノ者ヲ謂フ

第三百三十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ教師タルコトヲ得ズ

- 一 未成年者
- 二 宗制ニ依リ停權以上ノ懲戒處分ヲ受ケ復權セザル者
- 三 破産者ニシテ復權ヲ得ザル者
- 四 禁錮以上ノ刑ニ處セラレ復權ヲ得ザル者若ハ執行猶豫中ノ者
- 五 禁治産又ハ準禁治産ノ宣告ヲ受ケ未ダ取消サレザル者
- 六 其ノ他著シキ不具廢疾者、精神病者又ハ性行上著シキ瑕疵アル者
- 七 宗費、義納金、手数料等ヲ納付セザル者

第三百三十六條 教師ノ等級稱號ヲ分チテ左ノ十種トス

二 種類等級稱號等

等級	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級
教師ノ稱號	大僧正	權大僧正	中僧正	少僧正	大僧都	權大僧都	中僧都	少僧都	擬講	初講

第三百三十七條 管長ハ大僧正トス

第三百三十八條 管長ハ第三百六十條乃至第三百六十四條ニ依リ學階ヲ授與シ其ノ等級及稱號左ノ如シ

等級	一級	二級	三級
學階稱號	勸學	己講	得業

第三百三十九條 管長ハ教師中布教ニ堪能ナル者ニ對シ左ノ教階ヲ授與シ其ノ等級及稱號左ノ如シ

等級	一級	二級	三級	四級	五級
教階稱號	司監	准司監	讚教	准讚教	補教

三 檢定

イ 無試験檢定

第三百四十條 教師ノ檢定ヲ分チテ無試験檢定及檢定試験ノ二種トス

第三百四十一條 法脈傳承者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ無試験檢定ニ依リ教師資格ヲ得

格ヲ附與スルコトヲ得

- 一 西山専門學校研究科修了若ハ卒業シタル者
- 二 西山専門學校第三學年ヲ修了シ又ハ卒業シタル者
- 三 西山宗學院ヲ卒業シタル者
- 四 西山尼衆學院ヲ卒業シタル者

第三百四十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ無試験檢定ヲ受クルコトヲ得ズ

一 未成 年 者

二 第三百四十一條ノ資格ヲ有セザル者

三 宗制ニ依リ懲戒處分ヲ受ケ分限ノ復得ヲ得ザル者

四 宗費、義納金、手数料等ヲ納付セザル者

第三百四十三條 第三百四十二條ノ各號ノ該當者ハ檢定試験ヲ受クルコトヲ得ズ

第三百四十四條 檢定試験ハ左ノ二種トス

一 第十級教師檢定試験

二 第九級教師檢定試験

第三百四十五條 檢定試験ノ試験科目並其ノ程度ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 第十級教師檢定試験 西山専門學校本科第三學年修了程度

1 合格

二 第九級教師檢定試験 西山専門學校本科卒業程度
但専門學校令ニ依ル専門學校卒業者又ハ大學令ニ依ル大學卒業者ニハ佛教學科ノミヲ課ス

第三百四十六條 前條ニ於ケル試験成績ノ採點ハ一學科百點ヲ滿點トシ受験各科目四十五點以上、總平均六十點以上ヲ以テ合格トス

不合格者ニシテ六十點以上ノ成績ヲ得タル科目ニ付テハ其ノ證明書ヲ與ヘ再度試験ノ場合該科目ノ試験ヲ省略スルコトヲ得但有効期間ヲ三年トス

第三百四十七條 法脈傳承者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ願ニ依リ檢定試験ノ資格ヲ附與ス

一 第十級教師檢定試験

イ 専門學校入學資格ヲ有スル者及僧籍編入ノ日ヨリ十年ヲ經過シ相當ノ學力ヲ有スル者ト認メタル者

ロ 大學令ニ依ル大學豫科卒業者、専門學校卒業者及前號ニヨリ合格シタル者

二 第九級教師檢定試験

大學令ニ依ル大學卒業者及前號ニ依リ合格シタル者

第三百四十八條 檢定試験ハ西山専門學校ニ於テ隨時之ヲ行ヒ試験期日ハ豫メ之ヲ告示ス

3 檢定試験
施行ノ時
期及場所

2 受験資格

ロ 検定出願ノ手續、手数料等

第三百四十九條 無試験検定又ハ検定試験ヲ受ケントスル者ハ願書ニ履歷書並當該學校長ノ證明書及手数料ヲ添へ管長ニ差出スベシ

第三百五十條 試験ニ際シ受験者不正ノ行爲アリタルトキハ試験ヲ停止シ若ハ試験ヲ無効トス

第三百五十一條 前條ノ處分ヲ受ケタル者ハ其ノ處分ヲ受ケタル日ヨリ一年ヲ經ルニ非ザレバ受験スルコトヲ得ズ

ハ 検定ノ機關

第三百五十二條 検定試験ノ委員長ハ宗務長ヲ以テ之ニ充テ委員ハ西山専門學校ノ教授、講師及其ノ他ノ教師中ニ就キ宗務長ノ推薦ニ依リ管長之ヲ任命ス

第三百五十三條 検定試験委員長ハ合格者ニ對シ合格證書ヲ授與シ其ノ結果ヲ管長ニ報告スベシ

四 任命

第三百五十四條 管長前條ノ報告アリタルトキハ教師資格ヲ附與スルコトヲ得

第三百五十五條 教師ノ初任ハ左表ニ依ル

イ 新任

種別	初任教師		種別	權大僧都	中僧都	少僧都	擬講	初講
	種別	種別						
西山専門學校	研究科	卒業	前期終了					
	本科	卒業	卒業					
無試験								三年修了

ロ 昇任

種別	初任教師		種別	權大僧都	中僧都	少僧都	擬講	初講
	種別	種別						
西山宗學院	研究科	卒業	前期終了					
	本科	卒業	卒業					
西山尼衆學院	研究科	卒業	前期終了					
	本科	卒業	卒業					
定檢	第九級	第十級	合格					合格

第三百五十六條 前條ニヨリ任命セラレタル教師ニシテ左ノ各號ヲ具備スル者ハ宗務支所長ノ具申ニ依リ大僧都ニ至ルマデ累次昇進スルコトヲ得

- 一 僧籍編入ヨリ二十年ヲ經過シタル者
- 二 現級ニアルコト五年ヲ經過シタル者
- 三 寺門經營其ノ他ノ實績アル者

第三百五十七條 教師ハ教學講習會ニ出席シ其ノ試験ニ合格スルコト七回以上ニシテ現級ニ在ルコト三年ヲ經過シタル者ハ支所長ノ具申ニ依リ大僧都ニ至ル迄累次昇進スルコトヲ得

第三百五十八條 年齢四十五歳以上ニ達シ大僧都ニシテ曼荼羅ヲ相承シ現級ニ在ルコト五年以上ヲ經過シ左ノ各號ノ二以上ヲ具備シタル者ハ支所長ノ推薦ニ依リ褒賞審査會ノ議

ヲ經テ少僧正以上權大僧正ニ至ル迄累次昇進セシムルコトヲ得
但中僧正以上ノ昇進ハ現級ニ在ルコト十年以上經過シタルコトヲ要ス

- 一 學階稱號又ハ教階稱號ヲ有スル者
- 二 學術、德望秀拔ニシテ衆庶ノ師表ト仰グニ足ルベキ者
- 三 教旨擴張ノ爲有益ナル著述若ハ編輯ヲ爲シタル者
- 四 本派ノ宗務又ハ經營ノ事業ニ關與シ功勞顯著ナル者
- 五 總本山又ハ寺門ノ維持經營ニ卓絶セル功勞アル者
- 六 十五年以上本派ノ教育若ハ布教ニ從事シ顯著ナル功績アル者
- 七 教學資金ヲ獻納シタル者

第三百五十九條 褒賞規定ニ依リ進級セシムルトキハ第三百五十六條及第三百五十八條ノ
昇任規定ヲ適用セズ

但第四百六十一條第七號ノ褒賞規定ニ依ルモノハ現級ニ在ルコト三年以上經過シタルコ
トヲ要ス

1 學階稱號
イ 得業

- 第三百六十條 教師ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ得業ノ稱號ヲ授與スルコトヲ
得
- 一 西山專門學校研究科ヲ卒業シ論文ニ合格シタル者

ロ 己講

- 二 大學令ニ依ル學部卒業者ニシテ宗乘學又ハ余乘學ノ論文ニ合格シタル者
- 三 大學令ニ依ル學部佛敎學ヲ專攻シタル卒業生ニシテ宗乘ノ論文ニ合格シタル者
- 四 有益ナル著述若ハ編輯ヲ爲シタル者
- 第三百六十一條 教師ニシテ曼荼羅ヲ相承シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ己講ノ稱號ヲ
授與スルコトヲ得

一 得業ノ稱號ヲ有シ僧籍編入後三十年以上ヲ經過シタル者ニシテ十年以上西山專門學
校教授ノ職ニアリタル者

二 本派敎學振興ノ爲有益ナル著述ヲ爲シタル者

三 文學博士ノ學位ヲ有スル者

四 得業ヲ授與セラレテヨリ二十年以上經過シ本派敎學ニ特殊ノ功勞アル者

第三百六十二條 己講ノ稱號ヲ有シ本派ノ敎義及餘乘學ニ精通シタル者ニハ勸學ノ稱號ヲ
授與スルコトヲ得

第三百六十三條 學階授與ノ該當者アルトキハ宗務長ハ學階審査會ノ議ヲ經テ管長ニ推薦
スルモノトス

第三百六十四條 管長前條ノ推薦ヲ適當ト認メタルトキハ學階狀ヲ授與ス

第三百六十五條 管長ハ教師ニシテ布敎師審査會ノ議ヲ經テ宗務長ノ推薦アリタル者ニ就キ

2 教階稱號

ハ 勸學

適當ト認めタルトキハ左ノ教階稱號ヲ授與スルコトヲ得

イ 補教

一 西山専門學校卒業者ニシテ布教師適任證ヲ有スル者
布教師適任證ヲ有シ五年以上ヲ經過シ実績アリト認めラレタル者

ロ 准讚教

一 補教ノ稱號ヲ有シ布教講習會ニ三回以上出席シ其ノ試験ニ合格セル者
補教タルコト五年以上ヲ經過シ実績アリト認めラレタル者

ハ 讚教

一 准讚教ニシテ學階得業以上ヲ有スル者
准讚教ニシテ布教ニ關スル論文ニ合格シタル者

ニ 准司監

准司監

一 讚教ニシテ少僧正以上ノ者
讚教ニシテ布教ニ關スル有益ナル著述ヲ爲シタル者
讚教タルコト十年以上ヲ經過シ功績顯著ト認めラレタル者

ホ 司監

司監

一 准司監ニシテ學階己講以上ヲ有シ布教ニ功勞アリト認めラレタル者
准司監中僧正以上ニシテ布教ニ功勞アル者

第三百六十六條 管長ハ特派布教及開教布教ニ從事シ布教練達セル者ニ對シ教階ヲ授與スルコトヲ得

第三百六十七條 管長ハ教師ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シ布教師適任證ヲ附與スルコトヲ得

五 職務權限

一 西山専門學校卒業者又ハ在學者ニシテ布教ニ堪能ナル者

二 教學講習會ニ於テ試験ニ合格セル者

第三百六十八條 教師ハ身心健全、品行方正ニシテ終身教義ノ宣布及儀式ノ執行ヲ爲スベシ

第三百六十九條 教師ニ非ザレバ教義ヲ宣布シ又ハ法會及葬祭等ノ導師タルコトヲ得ズ

第三百七十條 教師中授戒會、五重會ノ導師ハ左記ニ依ル

一 授戒會 傳戒師ハ管長又ハ檀林住職之ヲ行フモノトス

二 五重會 傳燈師ハ曼荼羅相承以上ノ住職タル者之ヲ行フコトヲ得

六 他派教師ノ轉入

第三百七十一條 他宗派ノ教師タリシ者ニシテ本派ニ轉籍セントスルトキハ當該管長ノ證明書ヲ添附シ本派管長ニ轉入ノ出願ヲ爲スベシ

第三百七十二條 管長ハ前條ノ出願アリタルトキハ檢定試験ヲ爲シ其ノ合格シタル者ニ就

キ法脈相承ヲ爲シタル上教師ニ任命ス

七 本派教師ノ轉出

第三百七十三條 教師ニシテ他宗派へ轉籍セントスル者ハ豫メ管長ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス

第二節 教師ノ養成機關

第一節 教師ノ養成機關

養成機關

第三百七十四條 教師養成機關トシテ西山専門學校ヲ設置ス

イ 名稱
所在地
目的
ハ 組織

第三百七十五條 西山専門學校ハ京都府乙訓郡乙訓村大字粟生二十六番地ニ置ク
第三百七十六條 西山専門學校ハ淨土宗西山各派僧侶ニ必要ナル佛敎學及高等教育ヲ授クルヲ以テ目的トス

第三百七十七條 西山専門學校ニハ左ノ教職員ヲ置ク

校長	一名
學監	一名
教授	若干名
助教授	若干名
講師	若干名
司書	若干名
書記	若干名

第三百七十八條 前條ニ於ケル校長、學監、教授、助教授及講師ハ管長之ヲ任命シ司書、書記ハ校長之ヲ任命ス

第三百七十九條 西山専門學校ニ本科及研究科ヲ置ク

第三百八十條 西山専門學校ノ修業年限ハ本科四年トシ研究科ヲ三年トス

第三百八十一條 西山専門學校ノ本科ノ學科課程及毎週ノ授業時數ハ別記第一號ノ如ク之

ニ 修業年限
1 本科

2 別科
3 研究科

ヲ定ム

第三百八十二條 研究科ノ講座左ノ如シ

第一講座	善導教義
第二講座	事相教旨
第三講座	一般佛敎學

第三百八十三條 研究科第一學年ヲ前期トシ第二、第三學年ヲ後期トス

第三百八十四條 研究科學生ハ前期ニ於テハ所定ノ講座ニ出席シ後期ニ於テハ擔任教授指導ノ下ニ專攻課題ヲ研究スルモノトス

第三百八十五條 研究科學生ハ後期ニ於テ所定ノ論題精義ヲ提出シ探題者ヲ勤ムルモノトス

第三百八十六條 本科第一學年ニ入學シ得ル者ハ身體強健、品行方正ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ別ニ定ムル宗乘學初步及國語、漢文、英語ノ試験ニ合格シタル者タルコトヲ要ス

但僧侶ニ非ザルモノニ對シテハ宗乘學ノ試験ヲ省クコトヲ得

一 中學校ヲ卒業シタル者

二 専門學校入學者檢定規定ニ依ル檢定試験ニ合格シタル者

イ 本科入
學資格

ロ 研究科
入學資格

- 三 専門學校入學者檢定規定ノ指定ヲ受ケタル者
- 第三百八十七條 研究科ノ入學資格ハ教師ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ限ル
但詮衡ノ上入學ヲ拒否スルコトアルベシ
- 一 西山専門學校本科ヲ卒業シタル者
- 二 大學令ニ依ル大學又ハ専門學校令ニ依ル専門學校卒業者ニシテ本校ノ宗乘學科ヲ一年以上聽講シ其ノ試験ニ合格シタル者
- 三 第一號第二號ニ該當セザル者ニシテ特ニ宗務長ノ指定シタル選拔生

西山宗學院

イ 所在地
ロ 目的

ハ 組織

- 第三百九十條 西山宗學院ニ左ノ職員ヲ置ク
- 學院長 一名
- 教務主任 一名
- 講師 若干名
- 舎監 一名
- 第三百九十一條 前條ノ學院長、教務主任及講師ハ管長之ヲ任命ス

ニ 修業年限

ホ 入學資格

西山尼衆學院
イ 所在地
ロ 目的

ハ 組織

ニ 修業年限

- 但教務主任ハ講師中ヨリ之ヲ任命スルモノトス
- 第三百九十二條 西山宗學院ノ修業年限ヲ三年トス
- 第三百九十三條 西山宗學院ノ學科課程及毎週ノ授業時數ハ別記第二號ノ如ク之ヲ定ム
- 第三百九十四條 西山宗學院入學資格ハ男子青年學校本科卒業乙種中等學校卒業又ハ此ト同等以上ノ學力ヲ有シ入學考查ニ合格シタル者ニ限ル
- 第三百九十五條 尼僧教師ノ養成機關トシテ總本山光明寺内ニ西山尼衆學院ヲ設置ス
- 第三百九十六條 西山尼衆學院ハ尼僧ニ須要ナル佛敎専門ノ學科ヲ授ケ併テ法式行儀ヲ實習セシムルヲ以テ目的トス
- 第三百九十七條 西山尼衆學院ニ左ノ職員ヲ置ク
- 學院長 一名
- 教務主任 一名
- 講師 若干名
- 舎監 一名
- 第三百九十八條 前條ノ學院、教務主任及講師ハ管長之ヲ任命ス舎監ハ學院長之ヲ任命ス但教務主任ハ講師中ヨリ之ヲ任命スルモノトス
- 第三百九十九條 西山尼衆學院ノ修業年限ヲ三年トス

ホ 入學資格

第四百條 西山尼衆學院ノ學科課程及每週ノ授業時數ハ別記第三號ノ如ク之ヲ定ム

第四百一條 西山尼衆學院入學資格ハ女子青年學校本科卒業又ハ此ト同等以上ノ學力ヲ有シ入學考查ニ合格シタル者ニ限ル

高等女學校(五年制)卒業者ニシテ編入試験ニ合格シタル者ハ第二學年ニ入學スルコトヲ得

第三節 僧侶

一 資格

第四百二條 本派ニ於テ僧侶トハ得度ヲ終ヘ管長ヨリ度牒ヲ授與セラレ、僧籍編入ヲ了シタル者ヲ謂フ

僧侶ニハ僧名ヲ公稱セシム

二 種類、等級

第四百三條 僧侶ヲ分チテ教師及非教師トシ其ノ稱號ハ左ノ五種トス

資格・稱號	種類	
	教	非教
資格	大僧正	初講以上
稱號	少僧正以上	法脈傳承者
稱號	大和尚	僧籍編入者
稱號	老和尚	西堂
稱號	和尙	沙彌

但檀林住職ハ大和尚ト稱スルコトヲ得

第四百四條 僧侶ヲラントスル者ニ對シテハ師僧ニ於テ得度ノ式ヲ行フベシ

三 僧籍

イ 得度

ロ 法脈相承

第四百五條 年齡十二歳ニ達シ得度ヲ受ケントスル者ハ行儀法式ヲ修得シ所管宗務支所ニ於テ三部經素讀ノ考試ヲ終ヘ管長ヨリ得度承認書ヲ受クベシ

得度ノ承認ヲ得テ得度式ヲ終リタル者ハ直ニ度牒ノ授與ヲ申請スベシ

第四百六條 前條ノ申請アリタルトキハ管長ハ別記第四號様式ニ依リ度牒ヲ授與シ之ヲ僧籍簿ニ登載ス

第四百七條 年齡十八歳以上ノ徒弟ニシテ僧籍編入後三年ヲ經過シ法脈相承ヲ受ケントスル者ハ管長ニ出願スベシ

第四百八條 法脈相承ハ總本山光明寺ニ於テ所定ノ日ヨリ三週間加行スルモノトス加行ノ期日ハ豫メ之ヲ告示ス

第四百九條 法脈相承ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ行フ

- 一 管長ハ教誡師一名及監事一名ヲ任命ス
 - 二 教誡師ハ受者ヲ訓誡シ教義ヲ講授シ専ラ道念ノ長養ニ努ム
 - 三 監事ハ道場ノ莊嚴ヲ指揮シ受者ヲ警策シ一切ノ事務ヲ管掌ス
- 第四百十條 僧侶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ曼荼羅相承ヲ受クルコトヲ得
- 一 西山専門學校各科ヲ卒業セル者ニシテ少僧都以上ノ者
 - 二 専門學校令ニ依ル専門學校又ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シ中僧都以上ノ者

2 僧籍ノ設定

第四百十六條 僧籍簿ニ登載セラレタル僧侶ハ一寺院又ハ一教會ニ屬籍スルモノトス
第四百十七條 僧籍ノ設定ハ左記ニ依ル

- 一 住職ノ僧籍ハ當該寺院ニ置ク
- 二 兼務住職ノ僧籍ハ本務住職ノ寺院ニ置ク
- 三 住職タリシ者ノ僧籍ハ最後ニ住職タリシ寺院ニ置ク
- 四 徒弟ノ僧籍ハ師僧ノ住職寺院ニ置ク

徒弟トハ僧籍ニ編入シ未ダ住職ノ經歷無キ者ヲ謂フ

3 師僧換出

第四百十八條 僧侶ニシテ師僧換ヲ爲サントスルトキハ新舊師僧ノ連署ヲ以テ宗務所ニ届出ヅベシ

但住職及教會主管者タル者又ハ住職及教會主管者タリシ者ハ師僧換ヲ爲スコトヲ得ズ
第四百十九條 僧侶ニシテ他ノ宗務支所管内ニ轉籍シタルトキハ前所管支所長ハ其ノ僧籍簿ト同一ノモノヲ調製シ之ヲ轉籍セントスル支所長ニ送附シ其ノ僧籍ヲ除籍簿ニ編入スベシ

4 離籍

第四百二十條 徒弟ヲ離籍セントスルトキハ本人ト連署ノ上申請書ヲ宗務所ニ提出シ管長ノ承認ヲ受クベシ
但本人連署ヲ拒ミタル場合ハ其ノ事由ヲ具シ管長ノ承認ヲ求ムルコトヲ得

5 僧籍削除

第四百二十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ノ僧籍ハ關係人ノ届出又ハ宗務支所長ノ具申ニ因リ之ヲ削除ス

- 一 死亡シタルトキ
 - 二 失踪宣告ヲ受ケタルトキ
 - 三 宗費未納十期ニ互ルトキ、若ハ五年以上行方不明ナルトキ
 - 四 無届ニテ他宗派ヘ轉籍シタルトキ
 - 五 申請ニ因リ離籍ヲ認可セラレタルトキ
- 懲戒處分ニ因リ除籍ニ處セラレタルトキハ前項ノ届出ヲ用ヒズ之ヲ削除スルモノトス
第四百二十二條 除籍セラレタル者ノ僧籍ハ之ヲ除籍簿ニ編入シ二十年間保存スルモノトス

6 除籍

第四百二十三條 第四百二十一條ニ依リ僧籍ヲ削除サレタル者ニシテ復籍セントスル者ハ豫メ師僧若ハ法類總代ノ同意ヲ得僧籍復歸願ヲ管長ニ差出スベシ
但除籍後二十年ヲ經過スル者ハ復籍スルコトヲ得ズ

托鉢

第四百二十四條 僧侶ニシテ托鉢免許證ノ下付ヲ受ケントスル者ハ其ノ旨管長ニ出願スベシ

第四百二十五條 管長ハ前條ノ出願アリタルトキハ別記第五號様式ニ依リ免許證ヲ交付ス

第四百二十六條 免許證ハ他人ニ貸與スルコトヲ得ズ

免許證ハ何時タリトモ警察官吏ノ檢閲ニ供スベシ

托鉢修行時間ハ午前七時ヨリ午前十時マデトス

但往復ノ爲時間ノ遷延スルハ此ノ限ニ在ラズ

第四百二十七條 托鉢修行者ハ施主ノ請アルニ非ザレバ人家ニ接近シ濫リニ歩ヲ駐ムベカラズ一列三人以上十人以下タルベク公衆ノ往來ヲ妨ゲザルコトヲ要ス

第四百二十八條 托鉢者ノ身分ニ異動ヲ生ジタルトキハ免許證ヲ添へ書換ヲ請フベシ

第四百二十九條 免許證ヲ遺失シタルトキハ直ニ管長ニ届出デ第四百二十四條ニ依リ再下

付ヲ出願スベシ

前項ノ場合ニ於テハ托鉢免許證遺失ノ旨所轄警察署へ届出ツベシ

第四百三十條 免許證不用トナリタルトキ又ハ遺失シタル後發見シタルトキハ其ノ旨管

長ニ届出デ該托鉢免許證ヲ返上スベシ

托鉢者死亡シタルトキハ師僧又ハ法類ヨリ托鉢免許證ヲ返上スベシ

第四百三十一條 托鉢者ニシテ第四百二十六條乃至第四百三十條ニ違反シタルトキハ托鉢

免許證ヲ褫奪スルモノトス

第四百三十二條 僧侶ノ法服及色章左ノ如シ

四服制

法	袈裟	大衣 二十五條 九條 七條 威儀細 大師 折五條 五條	紋金 斑金 顯色 木欄 黑鼠
	法衣	直綴 素絹	緋 紅梅 紫(古代紫) 香(茶) 黑
法冠	水冠 始皇	紋金 斑金	
領帽		純白	
袴	刺貫 切袴	純素八ツ藤 淺黄紋白八ツ藤 無地淺黄	
座具		紋金 斑金 木欄 黑鼠	

第四百三十三條 法服ハ左ニ依リ着用スルモノトス

等級	教 級	袈裟	法衣	法冠	領帽	袴	座具
一級服	大僧正	紋金	緋	紋金	純白	純素八ツ藤	紋金
二級服	權大僧正	同右	紅梅	同右	同右	同	右 同右

五級服	四級服					三級服	
	初講	擬講	少僧都	中僧都	權大僧都	大僧都	中僧正
同右	顯色	同右	同右	同右	斑金	同右	同右
同右	同右	同右	同右	同右	香	同右	紫
同右	同右	同右	同右	同右	斑金	同右	同右
同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右	同右
同	同	同	同	同	淺黃紋白八ッ藤	同	同
右	右	右	右	右	斑金	右	右
同右	同右	同右	同右	同右	斑金	同右	同右

第四百三十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ前條ノ規定ニ拘ラズニ二級服ヲ着用スルコトヲ得

- 一 管長代務者
- 二 宗務長
- 三 檀林住職ニシテ中僧正ニ進級シタル者
- 四 中僧正ニシテ法主代務ノ際

第四百三十五條 紅梅色法衣着用ノ資格ヲ有スル者ト雖管長同席ノ場合ハ之ヲ着用スルコトヲ得ズ

第四百三十六條 初講以上ニ新任セラレタル者ハ轉衣願ヲ管長ニ差出スベシ

第四百三十七條 教師ニ任命セラレタル者ハ第四百三十四條ニ依ル身分相當ノ法服ヲ着用スルコトヲ得

第四百三十八條 教師ニ非ザル僧侶ノ法服ヲ定ムルコト左ノ如シ

稱號	法服		袈裟	法衣	法冠	領帽	袴	座員
	西堂	彌						
西堂	顯色	黒	袈裟	法衣	法冠	領帽	袴	座員
彌	無地木欄鼠	同右					同	同
							無地淺黃切袴	顯色
							同	黒鼠

第四百三十九條 本派紋章ヲ附シタル袈裟ノ色章ヲ分チテ左ノ五種トス

- 一 茶地紋金 總本山法主
- 二 萌黃紋金 檀林住職
- 三 紺地紋金折五條 本派僧侶ニシテ軍務ニ服シタル者
- 四 紋金折五條 威儀細 第四百六十一條ニ依ルモノ
- 五 紋章二個ヲ附シタル折五條 顯色

但第三號第四號ハ受賞者ノ外之ヲ着用スルコトヲ得ズ 第五號ハ僧侶ニシテ西堂以上ノ者ハ之ヲ着用スルコトヲ得

第四百四十條 准檀林四等以上ノ住職又ハ從來寺院ニ對シテ特許セラレタル者ニシテ大僧都ニ進級シタルトキハ第四百三十四條ノ規定ニ拘ラズ第三級服ヲ着用スルコトヲ得此ノ場合ハ豫メ管長ニ届出ヅベシ

第四百四十一條 總本山及檀林以外ノ寺院ニシテ紋章ヲ附スル法服ノ制限又ハ一般法服、色章表示及宗務所、宗立學校、役員、職員、布教師並宗立學校生徒ノ服制及色章ニ關スル細則ハ令達ヲ以テ之ヲ定ム

第七章 檀徒及信徒

第七章 檀徒及信徒

一 資格

第四百四十二條 檀徒トハ寺院及教會ノ檀徒名簿ニ登載シアル者ヲ謂フ

二 名簿

第四百四十三條 信徒トハ寺院及教會ノ信徒名簿ニ登載シアル者ヲ謂フ

第四百四十四條 寺院及教會ニハ檀徒名簿及信徒名簿ヲ備ヘ置クベシ其ノ記載事項左ノ如シ

- 一 檀徒ハ戸主又ハ世帯主、信徒ハ個人別
- 二 入檀年月日、住所、氏名、職業及生年月日

第四百四十五條 新ニ檀徒又ハ信徒タラントスル者アルトキハ住職又ハ教會主管者ニ於テ

三寶篤信ノ志ヲ確認シタル上佛祖前ニ於テ誓約歸入式ヲ行ヒ前條ノ名簿ニ登載スベシ

第四百四十六條 檀徒又ハ信徒ノ實踐事項左ノ如シ

- 一 本派教旨ヲ信奉シ儀式ヲ尊重スベキコト
- 二 三寶ヲ篤敬シ祖先ヲ崇拜スベキコト
- 三 父母ニ孝順シ師表ニ奉事スベキコト
- 四 家庭ヲ和樂ニシ子弟ノ教養ニ努ムベキコト
- 五 國家社會ノ公益ヲ圖ルベキコト

第四百四十七條 檀徒名簿及信徒名簿ハ其ノ副本ヲ宗務所及宗務支所ニ提出スベシ

第四百四十八條 檀徒又ハ信徒ニ異動ヲ生ジタルトキハ住職又ハ教會主管者ハ其ノ名簿ヲ訂正シ其ノ旨毎年十二月末日現在ヲ翌年一月末日迄ニ宗務支所及宗務所ニ報告スベシ

第四百四十九條 寺院及教會ノ檀徒ハ其ノ寺院及教會ニ葬儀、法要ヲ委託シ其ノ寺院及教會永續維持ノ義務ヲ負擔スルモノトス

第四百五十條 寺院及教會ノ信徒ハ所屬寺院及教會ノ永續維持ヲ輔佐スルモノトス

第四百五十一條 檀徒又ハ信徒ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者アルトキハ住職又ハ教會

主管者ハ管長ニ失格ヲ申請シ管長ノ承認ヲ得テ檀徒名簿又ハ信徒名簿ヨリ削除スルコト

三 權利義務

四 總代
イ 資格

ロ 員數

- ヲ得
- 一 教義ニ違背シ異議ヲ唱フル者
 - 二 正當ノ理由ナクシテ宗務所役員、職員又ハ住職若ハ教會主管者ノ職務ヲ妨害シ又ハ他ヲ教唆シテ妨害ヲ爲サシムル者
 - 三 正當ノ理由ナクシテ寺院及教會ノ財産ニ干涉シ不正ノ行爲ヲ爲ス者
 - 四 懲戒セラレタル僧侶ヲ曲庇シ管長ノ命令ニ反抗スル者
 - 五 寺院及教會ノ維持興隆ヲ妨害スル者
 - 六 住職及教會主管者ノ進退ニ付私意ヲ插ミ之ヲ妨害スル者
- 第四百五十二條 檀徒若ハ信徒ハ當該寺院又ハ教會ノ檀徒總代若ハ信徒總代ト爲ルコトヲ得
- 第四百五十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ檀徒總代若ハ信徒總代タルコトヲ得ズ
- 一 檀徒名簿又ハ信徒名簿ニ登載ナキ者
 - 二 未成年者
 - 三 六年以上ノ刑ニ處セラレタル者
- 第四百五十四條 住職及教會主管者ハ檀徒又ハ信徒中ヨリ檀徒總代又ハ信徒總代三名以上七名以内ヲ選任スベシ

ハ 就任及解任ノ手續

ニ 任期

ホ 職務權限

第四百五十五條 住職又ハ教會主管者ハ檀徒總代又ハ信徒總代ヲ選任又ハ解任シタルトキハ遲滯ナク管長ニ届出ヅベシ

第四百五十六條 檀徒總代又ハ信徒總代ノ任期ハ寺院規則又ハ教會規則ノ定ムル所ニ依ル

第四百五十七條 檀徒總代又ハ信徒總代ハ宗制ノ範圍内ニ於テ住職及教會主管者ヨリ差出スベキ諸願書又ハ届書ニ連署スルモノトス

前項ノ場合ニ於テ檀徒總代又ハ信徒總代其ノ調印ヲ拒ミタルトキハ住職又ハ教會主管者ハ其ノ事由ヲ具シ差出スベシ

第八章 褒賞及懲戒

第一節 褒賞

第八章 褒賞及懲戒
第一節 褒賞

第四百五十八條 褒賞ハ褒賞審査會ノ審査ヲ經テ管長之ヲ行フ

第四百五十九條 僧侶、檀徒又ハ信徒ニシテ褒賞ニ該當スル者アリト認メタルトキハ支所長ハ事實ヲ詳查シ管長ニ具申スベシ

管長ニ於テ褒賞ヲ行フベキ必要アリト認メタルトキハ前項ノ具申ヲ俟タズシテ之ヲ行フコトアルベシ

第四百六十條 僧侶、檀徒及信徒ニ對スル褒賞ノ種類左ノ如シ

二事由

- 一 教級昇進
 - 二 法服授與
 - 三 賞品授與
 - 四 賞狀授與
 - 五 法號授與
- 第四百六十一條 僧侶ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ教級一級又ハ數級ヲ昇進セシメ若ハ法服又ハ賞品ヲ授與スルコトヲ得
- 一 派内ノ役員又ハ職員ニシテ功績顯著ナル者
 - 二 徒弟ノ教養ニ盡力シ功績顯著ナル者
 - 三 教師養成又ハ布教ニ從事シ特殊ノ功勞アル者
 - 四 公利公益ヲ圖リ爲ニ宗派ノ光榮ヲ發揚シタル者
 - 五 寺院又ハ教會ヲ創立若ハ移轉シ永續維持ノ方法ヲ確立シタル者
 - 六 開教地ニ於テ開教上顯著ナル功勞アル者
 - 七 教學資金ヲ獻納セシ者
 - 八 寺院又ハ教會ノ堂宇ヲ新築、改築又ハ増築シタル者
 - 九 僧籍編入後五十年以上ニ達シ法務ヲ怠ラザル者

- 十 一般檀信徒ノ著シキ歸依ヲ得タル者
 - 十一 僧侶ニシテ軍務ニ服シ功アリト認めタル者
 - 十二 本派經營ノ事業ニ特殊ノ功勞アル者
- 第四百六十二條 檀徒又ハ信徒ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ法號、賞品又ハ賞狀ヲ授與ス
- 一 金員又ハ土地ヲ總本山若ハ所屬寺院又ハ教會ニ寄附シタル者
 - 二 孝子、節婦世ノ模範トナル者
 - 三 軍務ニ服シ勳功アル者
 - 四 堂宇又ハ會堂ノ新築、改築、増築ニ付特殊ノ功勞アル者
 - 五 寺院又ハ教會ノ設立、合併、移轉ニ際シ功勞アル者
 - 六 檀徒又ハ信徒トシテ他ノ模範ト爲ル者
 - 七 僧侶ノ養成ニ盡力シタル者
 - 八 寺院又ハ教會ノ堂宇等ヲ設立シタル者
 - 九 本派又ハ寺院若ハ教會ノ公益事業ニ盡シタル者
 - 十 官公衙其ノ他ノ公職ニ就キ國家社會ニ功勞アル者
 - 十一 寺院又ハ教會ノ經營維持ニ對シ顯著ナル功勞アル者

十二 社會教育上有益ナル著述ヲ爲シタル者

十三 公益事業ニ從事シ功績顯著ナル者

第四百六十三條 第四百六十一條及第四百六十二條ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ生前褒賞ヲ受ケザリシ者ニハ相當ノ褒賞ヲ追贈スルコトヲ得

第二節 懲戒

第四百六十四條 懲戒ハ懲戒審査會ノ審査ヲ經テ管長之ヲ行フ

第四百六十五條 懲戒ノ種類左ノ如シ

除籍 本派僧籍ヲ削除シ派内ヨリ擯斥ス

免職 住職又ハ教會主管者ヲ罷免シ其ノ寺院又ハ教會ヨリ退去セシム

降級 教師ヲ等級一級若ハ數級ヲ降下ス

停權 三月以上三年以内ニ於テ教師ノ選舉權、被選舉權及身分資格ニ相當スル法服着用ヲ停止ス

譴責 譴責スル旨ノ宣告ニ依リ之ヲ行フ

第四百六十六條 僧侶中左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ情狀ニ依リ譴責、停權、降級、免職又ハ除籍ニ處ス

一 役員、職員ニシテ職務上背任行爲ヲ爲セシ者

二 正當ノ理由ナクシテ期限ヲ付シタル諸届報告ヲ怠リタル者

三 寺院ノ堂宇又ハ教會ノ會堂ヲ消失シ保管書類器物ヲ紛失シ又ハ竊取セラレタル者

四 役員、職員ニシテ機密ヲ漏洩シ又ハ職務怠慢ニ因リ他ニ累ヲ及ボシタル者

五 濫ニ他ノ寺院住職又ハ教會主管者ノ進退ニ關シ私意ヲ插ミテ故障セシ者

六 故ナク管長ノ命ニ背キタル者

七 濫ニ他ノ寺院及教會ノ檀徒若ハ信徒ノ葬儀又ハ法要ヲ爲シタル者

八 堂宇ヲ異教ノ演說ニ使用シテ寺院ノ尊嚴ヲ汚スベキ行爲アリタル者

九 證人トシテ虚偽ノ陳述ヲ爲シタル者

十 身分資格ヲ詐稱セシ者

十一 正當ノ理由ナクシテ宗務所又ハ宗務支所ノ召喚ニ應セザル者

十二 他ノ寺院又ハ教會ノ檀徒若ハ信徒ヲ教唆シ其ノ住職若ハ教會主管者ノ地位又ハ聲望ヲ毀損シタル者

望ヲ毀損シタル者

十三 本寺、末寺ノ間ニ於ケル慣例又ハ契約ヲ履行セザル者

十四 教養シ得ベキ資力アル寺院ノ住職ニシテ徒弟教養ノ義務ヲ怠リタル者

十五 拘留ニ處セラレタル者

十六 托鉢規定ニ背キタル者

- 十七 法服ヲ僭亂セシ者
- 十八 教式ヲ亂セシ者
- 十九 役員、職員ニシテ宗金ヲ私消シ又ハ職權ヲ濫用シ不正ノ行爲アリタル者
- 二十 詐欺又ハ強誘若ハ不正ノ手段ニ依リ他ノ寺院又ハ教會ノ檀徒若ハ信徒ヲ奪ヒ又ハ射利ノ目的ヲ以テ轉檀セシメタル者
- 二十一 故意又ハ重大ナル過失ニ因リテ寶物ヲ破壊シ若ハ喪失セシメ又ハ之ヲ橫領若ハ隱匿シタル者
- 二十二 寶物ヲ所藏スル寺院ノ住職ニシテ適當ナル管理ノ義務ヲ盡サズ因テ寶物ヲ紛失セシメタル者
- 二十三 宗費賦課金又ハ宗務支所賦課金ヲ滯納シタル者
- 二十四 罰金刑ニ處セラレタル者
- 二十五 當然ノ職務ヲ回避シ又ハ成規ニ依ル手續ヲ怠リタル者
- 二十六 宗務機關ノ調査、訊問ニ對シテ虛偽ノ答申ヲ爲セシ者
- 二十七 故意ヲ以テ不實ノ申告ヲ爲シタル者
- 二十八 人ヲシテ懲戒處分ヲ受ケシムル目的ヲ以テ虛偽ノ申告ヲ爲シタル者
- 二十九 地方長官ノ許可ナクシテ寺債ヲ爲シタル者

- 三十 役員、職員ニシテ其ノ職務ニ關シ物品、金錢ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタル者
- 三十一 本派又ハ寺院若ハ教會ノ用ニ託シテ寄附金ヲ募集シ私利ニ供シ又ハ費消シタル者
- 三十二 役員、職員ノ名義ヲ詐稱シ金品ヲ騙取シタル者
- 三十三 故ナク宗費賦課金ヲ納付セズ又ハ他ヲ教唆シテ同上ノ行爲ヲ爲サシメタル者
- 三十四 寺有財産中佛像、寶物、建物、土地、資金若ハ本派所屬法人ノ所有物件ヲ橫領シ若ハ隱匿シ又ハ故意ニ喪失セシメタル者
- 三十五 懲役、禁錮ノ刑ニ處セラレ執行猶豫中ノ者
- 三十六 成規ノ手續ニ依ラズ寺院又ハ教會ノ所有財産ヲ賣却、讓與又ハ擔保ニ供スル等ノ處分行爲ヲ爲セシ者
- 三十七 宗務機關其ノ他團體ニ納付スベキ課金又ハ寄附金ヲ領收シ其ノ納付ヲ怠リタル者
- 三十八 寺院若ハ教會ノ財産ヲ隱匿若ハ濫費シ又ハ管理ヲ怠リタル者
- 三十九 本派ノ威信ヲ損傷スル行爲アリタル者
- 四十 停權處分二回以上ニ及ブ者

- 四十一 宗務機關ノ公印若ハ文書ヲ毀棄シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ偽造シテ之ヲ行使シ若ハ盗用シタル者
- 四十二 非行ニ依リ多數ノ檀徒若ハ信徒ノ歸依ヲ失ヒ寺院若ハ教會ノ荒廢ヲ招キタル者
- 四十三 非理ノ請願ヲ遂グル爲徒黨ヲ結ブ者
- 四十四 宗費賦課金若ハ宗務所ニ納付スベキ義納金其ノ他、公金ト爲スベキ財物ヲ竊取シ若ハ横領シタル者
- 四十五 正當ノ理由ナクシテ宗費賦課金ヲ滯納シ督促ヲ受クルモ四期ニ亘リテ納付セザル者
- 四十六 寺院住職若ハ教會主管者ニシテ故ナク寺院若ハ教會ヲ出デテ三月以上寺院若ハ教會ニ歸ラザル者又ハ六月以上故ナク赴任セザル者
- 四十七 破産宣告ヲ受ケタル者
- 四十八 禁錮、懲役以上ノ刑ニ處セラレタル者
- 四十九 降級處分二回以上ニ及ブ者
- 五十 本派教義ニ違背セル説教若ハ講演ヲ爲シ又ハ民衆ヲ誑惑シ若ハ社會ヲ毒スル行爲アリタル者
- 五十一 宗安秩序ヲ紊亂セル者

三 審 議

- 五十二 宗制ヲ遵守セズ却ツテ管長ノ命ニ抵抗シ又ハ徒黨ヲ企ツル者
- 五十三 佛祖ノ威徳ヲ冒瀆シ信仰ヲ破壊シ若ハ本派ノ體面ヲ汚シタル者
- 五十四 濫ニ轉宗轉派ヲ企ツル者又ハ他ヲ教唆シテ其ノ行爲ヲナサシムル者
- 五十五 寺院若ハ教會ノ什器、寶物、動産及不動産ヲ轉賣シ又ハ費消シタル爲寺院若ハ教會ノ存立維持ノ基礎ヲ危クセシ者
- 第四百六十七條 僧侶ニシテ懲戒ニ處スベキ者アリト認メタルトキハ支所長ハ理由及證據ヲ具シ管長ニ申告スベシ
- 支所長ニシテ懲戒ニ處スベキ者アリト認メタルトキハ宗務長ハ之ヲ管長ニ申告スベシ
- 第四百六十八條 前條ノ申告アリタルトキハ管長ハ被申告者ニ對シ事實ノ正否ニ付調査スルモノトス
- 第四百六十九條 懲戒處分ノ嫌疑アルトキハ管長ハ懲戒審査會ヲ招集シ審査ニ付スベシ
- 第四百七十條 管長ハ懲戒審査會ノ審査終リタルトキハ三日以内ニ於テ懲戒ニ處スベキヤ否ノ裁決ヲ爲スベシ
- 第四百七十一條 懲戒處分ノ決定ヲ爲シタルトキハ管長ハ懲戒狀ヲ支所長ヲ經テ本人ニ交付スベシ
- 但本人所在不明ニシテ交付シ難キトキハ師僧又ハ法類總代ニ交付ス

第四百七十二條 支所長前條ノ懲戒狀ヲ交付シタルトキハ直ニ其ノ交付ノ日時、場所及被交付者ヲ管長ニ報告スベシ

第四百七十三條 懲戒處分ノ時効ハ其ノ行爲アリタルトキヨリ五年ヲ經過スルニ因リテ完成ス

四 處分ノ減免

第四百七十四條 管長ハ懲戒審査會ノ議ヲ經テ處分ノ減免ヲ爲スコトヲ得

第四百七十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ其ノ情狀ヲ酌量シ減免スルコトヲ得

一 所爲未ダ發覺セザル前ニ於テ自白懺悔セシ者

二 年齢七十歳以上又ハ十五歳以下ノ者

三 金員、物品等ノ損害ヲ辨償シタル者

四 違規ノ情狀懇諒スベキ者

五 刑ノ執行ヲ猶豫セラレタル者但執行猶豫ヲ取消サレタルトキハ此ノ限リニ在ラズ

五 處分ノ加重

第四百七十六條 同一時期ニ於テ二以上ノ懲戒事犯ニ依リ處分セントスルトキハ重キニ從ヒ之ヲ處分ス

第四百七十七條 降級ノ懲戒處分ニ依リ第三百七條及第三百十一條ニ依ル住職又ハ教會主管者トシテノ資格ヲ失ヒタルトキハ免職ノ言渡ヲ爲サズシテ同時ニ其ノ職ヲ免ゼラルルモノトス

六 特免、減免及分限復得

第四百七十八條 管長ハ懲戒審査會ノ議ヲ經テ赦免、特免又ハ分限ノ復得ヲ爲スコトヲ得

第四百七十九條 赦免ハ處分後左ノ年限ヲ經過シ改悛ノ實アルトキ支所長ノ具申ニ依リ之ヲ行フ

一 除籍ニ處セラレタル者七年以上ヲ經過シタルトキ 但六年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラズ

二 免職ニ處セラレタル者三年以上ヲ經過シタルトキ 但一年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル者ハ刑ノ執行ヲ終リタル後二年ヲ經過スルコトヲ要ス

三 降級ニ處セラレタル者二年以上經過シタルトキ

四 停權ニ處セラレタル者其ノ言渡ヲ受ケタル期間ノ二分ノ一以上ヲ經過シタルトキ

第四百八十條 特免ハ左ノ場合之ヲ行フ

一 國家ノ慶弔アルトキ

二 宗祖、派祖ノ遠忌アルトキ

特免ハ令達ヲ以テ派内ニ告示ス

第四百八十一條 教師ニシテ除籍セラレタル者ノ分限復得ハ初講ヲ限度トス

第四百八十二條 減免、赦免、特免又ハ分限ノ復得アリタルトキハ宗務長ハ處分ノ言渡ヲ

受ケタル者ノ管轄支所長ニ減戒狀、赦免狀、特免狀又ハ分限復得狀ヲ送附シ之ヲ本人ニ交付セシムベシ

第四百八十三條 本宗制ニ依リ懲戒處分ヲ受ケタル者ハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ズ

第九章 財産管理其ノ他ノ財務

第九章 財産管理其ノ他ノ財務

第一節 財産

一 財産

第四百八十四條 本派ノ財産ヲ分チテ基本財産及普通財産トス

イ 基本財産

第四百八十五條 基本財産ハ土地、建物及其ノ他ノ不動産又ハ宗會ノ議決ニ依リ基本財産ニ編入サレタル財産トス

ロ 普通財産

第四百八十六條 普通財産ハ基本財産ヨリ生ズル收入基本財産以外ノ財産寄附金及其ノ他ノ收入トス

二 財産管理

イ 管理者

第四百八十七條 本派ノ財産ハ管長之ヲ管理ス

ロ 管理ノ方法

第四百八十八條 基本財産中現金ハ有價證券ニ換ヘ又ハ確實ナル銀行ニ保管スルコトヲ要ス

第四百八十九條 基本財産中ニ於テ其ノ轉換ヲ爲サントスルトキハ宗會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

ハ 財産目録

第四百九十條 管長ハ財産目録ヲ作成シ宗務所ニ備ヘ置クベシ

第二節 賦課徴收

第四百九十一條 本派ノ經費ハ普通財産ヲ以テ之ヲ支辨ス

一 目的

第二節 賦課徴收

第四百九十二條 宗務並ニ布教、教育其ノ他ノ事業ヲ遂行スルニ必要ナル經費ヲ支辨スル爲ニ寺院、教會並教師、僧侶ニ對シ宗費ヲ賦課ス

第四百九十三條 總本山光明寺ニ對シテハ宗費ヲ賦課セズ

第四百九十四條 宗費ハ經常費、臨時費ノ二種ニ分チ之ヲ徴收ス

第四百九十五條 寺院及教會ニ對スル賦課額ノ算定ハ第五百二條ニ依リ之ヲ定ム

第四百九十六條 宗費ノ賦課率ハ左ノ如シ

一 寺院及教會ノ等級ニ課スルモノ

寺 格	等 級 及 口 數						
	一 等	二 等	三 等	四 等	五 等	六 等	七 等
檀 林	一 千 口	七 百 口	五 百 口				
准 檀 林	一 千 口	八 百 口	七 百 口	六 百 二 十 口	五 百 五 十 口	四 百 九 十 口	四 百 四 十 口

二 種類

イ 定時賦課

1 寺院教

會ニ課

スルモ

ノ

賦課額

算定ノ

基礎

賦課率

住職義納金

手數料

- ニテ延滞利子及督促一回ニ付金參拾錢手數料ヲ加算徴收スルモノトス
- 第五百四條 住職又ハ教會主管者ニ任命セラレタル者ハ第四百九十六條第一號ニ定ムル宗費賦課率當該口數ニ金五拾錢ヲ乗ジタル義納金ヲ納入スベシ
但本義納金ノ十分ノ二ハ其ノ寺ノ本寺ニ之ヲ交付スルモノトス
- 第五百五條 僧籍編入、僧籍訂正、僧籍復歸、法脈相承、曼荼羅相承、托鉢免許、意見書、承認書、各種證明書、檢定試験、無試験檢定、教級昇任、教師轉派及轉衣出願ヲ爲サントスルトキハ第五百六條ニ定ムル手數料又ハ義納金ヲ納付スベシ
- 第五百六條 前條ノ手數料、義納金ヲ左ノ如ク定ム
 - 一 意見書、承認書、各種證明書手數料(再下付ノ場合ハ半額) 金貳圓
 - 二 僧籍編入手數料 金五圓
 - 三 僧籍訂正手數料 金參圓
 - 四 僧籍復歸手數料 金拾圓
 - 五 法脈傳承手數料 金拾圓
 - 六 曼荼羅相承手數料 金拾圓
 - 七 托鉢免許手數料 金貳圓
 - 八 檢定試験手數料 金拾五圓

三 賦課徴收ニ關スル其ノ他ノ規定

- 九 無試験檢定手數料 金五圓
- 十 第三百五十七條ニ依ル教師昇任手數料 金五圓
- 十一 第三百五十六條ニ依ル教師昇任義納金 金參拾圓
- 十二 教師轉派義納金 金參拾圓
- 十三 轉衣義納金 金參拾圓
- 第五百七條 教師ニシテ教學資金貳百圓以上ヲ獻納セントスルトキハ獻金願ヲ管長ニ差出スベシ
- 第五百八條 寺院又ハ教會ニシテ非常災害若ハ特別ノ事由アル場合ニ限り願ニ依リ宗費ノ賦課ヲ一定ノ期間減免又ハ延納スルコトヲ得
前項ノ場合ニハ支所長ノ證明書ヲ添附シタル上管長ニ出願スベシ
- 第五百九條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ管長ハ宗務所會ノ議決ヲ經テ宗費ヲ減免シ又ハ延納セシムルコトヲ得
 - 一 本堂、庫裡ノ燒失、又ハ倒壊シタルトキ
 - 二 旱害、風害、水害、震災等ニ因リ田畑等ノ小作料ノ減收ヲ來シタルトキ
 - 三 戰事、事變ノ爲住職又ハ教會主管者ニシテ應召シタルトキ
 - 四 開教地ニ於テ寺院又ハ教會ヲ設立シタルトキ

隨時賦課

第九章 財産管理其ノ他ノ財務

第三節

豫算及決算

一一二

第三節 豫算及決算

一 豫算

イ 豫算ノ編成

ロ 豫算ノ議決

ハ 豫算ノ區分

第五百十條 管長ニ於テ必要アリト認めタルトキハ宗會ノ議決ヲ經テ臨時費ヲ賦課スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於ケル賦課徴收方法ハ其ノ都度之ヲ定ム

第三節 豫算及決算

第五百十一條 豫算ハ宗務長ニ於テ之ヲ編成シ宗會ノ協賛ヲ經テ決定ス豫算成立シタルトキハ宗務長ハ直ニ之ヲ派内ニ告示スベシ

第五百十二條 宗會ニ於テ豫算成立セザルトキハ前年度ノ豫算ヲ踏襲ス

第五百十三條 豫算ハ經常部及臨時部ニ分チ之ヲ各款、項目ニ區分ス

第五百十四條 歳出豫算ノ各款ハ流用スルコトヲ得ズ

第五百十五條 宗務所一切ノ收入ヲ歳入トシ一切ノ經費ヲ歳出トス

歳出豫算中ニ豫備費ヲ置キ避クベカラザル豫算ノ不足又ハ豫算外ノ支出ニ充ツルモノトス

第五百十六條 豫備費ヲ支出セントスルトキハ參事會ノ議決ヲ經ルモノトス

第五百十七條 決算ハ豫算ト同一區分ニ依リ作成シ左ノ書類ヲ添附シ參事會ノ承認ヲ經タル上派内ニ告示ス

二 決算

決算ノ報告及承認

一 收入簿

ル上派内ニ告示ス

二 支出簿

三 收入、支出ノ證憑書類

四 財産目録

第四節 其ノ他ノ財務規定

一 會計年度

二 基本財産ノ處分

三 借入

第四節 其ノ他ノ財務規定

第五百十八條 會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

每會計年度ノ歳入、歳出ニ關スル事務ハ五月末日迄トス

第五百十九條 第五百十七條ノ決算ニ對シテハ之ヲ次期宗會ニ提出シ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第五百二十條 基本財産ハ賣却、讓與又ハ擔保ノ目的ト爲スコトヲ得ズ

但非常災害又ハ特ニ必要ナル場合ハ宗會ノ議決ヲ經テ處分スルコトヲ得

第五百二十一條 借財ヲ爲サントスルトキハ豫メ左ノ事項ニ付宗會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

一 理由

二 借財セントスル金額

三 利率

四 返済方法

第九章 財産管理其ノ他ノ財務

第四節 其ノ他ノ財務規定

一一三

四 歲計剩餘金ノ處分方法

五 其他必要ナル事項

第五百二十二條 前年度剩餘金ハ參事會ノ承認ヲ經テ之ヲ特別會計ニ繰入ルルモノトス

第五百二十三條 特別會計ノ收支決算ハ參事會ノ検査ヲ經テ宗會ニ提出スルモノトス

第五百二十四條 役員、職員、布教師、議員等ノ俸給、旅費、日當ニ關シテハ令違ヲ以テ之ヲ定ム

第十章 公益事業

第十章 公益事業

第五百二十五條 本派ハ四恩報答ノ實ヲ舉グル爲宗會ノ議決ヲ經テ公益事業ヲ爲スコトヲ得

第五百二十六條 前條ノ議決事項左ノ如シ

- 一 所在地
- 二 名稱
- 三 目的
- 四 代表者
- 五 事業種目及概況
- 六 職員ト其ノ俸給

第十一章 補則

- 七 基本金並寄附金ノ額及其ノ有無
 - 八 補助金
 - 九 維持方法
 - 十 次年度豫算
 - 十一 年度收支決算
- 第五百二十七條 公益事業ハ管長之ヲ管理ス

第十一章 補則

一 法人ト爲ルコト

第五百二十八條 本派ヲ法人ト爲サントスルトキハ宗會議員ノ三分ノ二以上ノ同意アル議決ヲ得ルコトヲ得

二 合併

第五百二十九條 合併又ハ解散セントスルトキハ宗會議員ノ全員ノ同意アル議決ヲ得ルコトヲ要ス

三 解散

第五百三十條 合併セントスルトキハ本派ノ財産ハ合併後存續スル宗派ニ歸屬ス

解散シタル場合ハ本派ノ財産ハ之ヲ總本山光明寺ニ歸屬ス

第五百三十一條 本宗制ニ依リ管長ニ提出スベキ書類ハ別記書式ニ依リ凡テ當該管轄支所部長並支所長ヲ經由スベシ

附 則

- 一 宗制ノ施行
期日
- 二 經過規定

附 則

第五百三十二條 本宗制ハ認可ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五百三十三條 本宗制施行ノ際現ニ管長ノ職ニ在ル者ハ本宗制ニ依リ選舉セラレタル管長ト看做ス

第五百三十四條 本宗制施行ノ際現ニ執事長ノ職ニ在ル者ハ本宗制ニ依リ選任セラレタル宗務長ト看做ス

第五百三十五條 本宗制施行ノ際現ニ寺務所役員、職員、寺務支所長、寺務支所副長、顧問、議會議長、議會副議長、參事會員、會計審查員、議會議員、西山専門學校及西山尼衆教習所職員、講師、教師、布教師、開教師、僧侶ノ稱號ハ本宗制ニ依リ任命又ハ授與セラレタル者ト看做ス

但前項ノ者ニシテ選舉ニ依ルモノハ本宗制施行ノ日ヨリ三月内ニ之ヲ改選シ任期アルモノハ從前就任ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第五百三十六條 本宗制施行前ニ於ケル寺院ノ寺格等級ハ之ヲ廢止ス

第五百三十七條 本宗制施行ノ際現ニ僧籍簿ニ登載セラレアル者ハ本宗制ニ依リ登載サレタル者ト看做ス

第五百三十八條 本宗制施行ノ際現ニ住職、又ハ教會及説教所ノ擔任教師ノ職ニ在ル者ハ本宗制ニ依リ任命セラレタル住職及教會主管者ト看做ス

但兼務住職ノ殘任期間及兼務教會主管者ノ任期ハ本宗制施行ノ日ヨリ二年ヲ越ユルコトヲ得ズ

第五百三十九條 本宗制施行ノ際現ニ寺院、教會ノ檀徒總代、信徒總代ノ届出アルモノハ本宗制ニ依リ届出ラレタルモノト看做ス

但其ノ任期ハ從前就任ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第五百四十條 本宗制施行ノ際左表ノ如ク現級ニアル者ハ本宗制ニ依リ新級ニ昇任セラレタルモノト看做ス

新	中	少	中	新
級	僧	僧	僧	級
現	正	正	權	現
級	中	中	中	級
	僧	僧	僧	
	都	都	都	
	少	少	少	
	僧	僧	僧	
	都	都	都	

初	講
擬	准
講	擬
補	講

第五百四十一條 本宗制施行ノ際現ニ法服用ノ許可アル者ハ本宗制ニ依リテ許可サレタルモノト看做ス

但本宗制ニ牴觸スルモノハ特ニ着用期限ヲ本宗制施行ノ日ヨリ二年ヲ限り之ヲ認ム

第五百四十二條 本宗制施行ノ際現ニ藤色法衣又ハ檀林相當法服用ノ許可アル者ニシテ本宗制施行ノ日ヨリ二年内ニ大僧都ニ進級シタル者ハ第四百三十三條ノ規定ニ拘ラズ第三級服用ヲ着用スルコトヲ得

第五百四十三條 本宗制施行ノ際現ニ懲戒處分中ノ者ハ本宗制ニ依リ處分セラレタルモノト看做ス

第五百四十四條 佛堂ガ本派ノ寺院ニ屬シ又ハ寺院若ハ教會ト爲ルコトノ認可ヲ申請セントスルトキハ法令ノ定ムル所ニ依リ必要ナル書類ヲ調製シ寺院ニ屬スル場合ニ於テハ其ノ屬スベキ寺院ノ同意ヲ得當該佛堂ノ受持僧侶其ノ他ノ管理者ヨリ之ヲ宗務所ニ提出シ管長ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス

第五百四十五條 寺院又ハ佛堂タリシ教會ニシテ國有境内地ノ讓與又ハ賣拂ノ申請ヲ爲サ

ントスルトキハ法令ノ定ムル所ニ依リ必要ナル書類ヲ調製シ住職又ハ教會主管者ヨリ之ヲ宗務所ニ提出シ管長ノ意見書ノ交付ヲ受クベシ

前項ノ讓與又ハ賣拂ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ宗務所ニ報告スベシ

第五百四十六條 大正八年五月二十四日公布ノ宗制宗規及大正八年ヨリ昭和十五年十月迄ニ發布セラレタル宗令ハ本宗制施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

別記第一號 西山專門學校本科、學科課程及每週ノ授業時數

科 學	佛 教 學				修 身		史 歷
	宗乘實習	宗乘學	余乘學	佛教史	倫理	教育	
科 目	宗乘實習	宗乘學	余乘學	佛教史	倫理	教育	哲學
年	布教實習	法 式	宗乘一部	同 二部	余乘一部	同 二部	佛 教 史
一 年	實踐倫理	西 哲 史	論 理 學	國 史	二	五	二
數 時	二	年	上	同	二	三	三
二 年	國民道德	東洋倫理學	西洋倫理學	心理學	六	一	同
數 時	一	三	上	同	二	三	三
三 年	倫理學	教育學	教授法	哲學概說	四	一	同
數 時	一	二	上	同	四	一	同
四 年	同上	同上	同上	宗教哲學	四	一	同
數 時	一	二	上	同上	四	一	同

別記ノ一 西山專門學校本科、學科課程及每週ノ授業時數

科學	佛		教		學		身修	史	國	語	漢	文	操體
	宗乘	宗乘	餘乘	佛	實	倫							
科目	宗乘	宗乘	餘乘	佛	實	倫	哲	國	漢	國	漢	文	操體
學年	宗乘	宗乘	餘乘	佛	實	倫	哲	國	漢	國	漢	文	操體
一	布教	法乘	宗乘	同	同	同	實	國	講	講	講	講	教
年	式	第一	第一	第二	第二	第二	理	史	讀	讀	讀	讀	練
數時	七	七	七	二	二	二	五	二	六	六	六	二	二
二	同	同	同	同	同	同	國民	宗	同	同	同	同	同
年	上	上	上	上	上	上	倫理	教	上	上	上	上	上
數時	二〇	二〇	二〇	二	二	二	五	一	四	四	四	二	二
三	同	同	同	同	同	同	倫理	宗	同	同	同	同	同
年	上	上	上	上	上	上	哲學	教	上	上	上	上	上
數時	二〇	二〇	二〇	二	二	二	五	一	四	四	四	二	二

別記第二號 西山宗學院ノ學科課程及每週ノ授業時數

科學	國		語		漢		文	學	法	制	操體
	國	語	國	語	漢	文					
科目	國	語	國	語	漢	文	文	英	法	制	操體
學年	國	語	國	語	漢	文	文	英	法	制	操體
一	講	文	講	文	講	文	講	講	講	講	教
年	讀	法	讀	文	讀	法	讀	讀	讀	讀	練
二	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
年	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
數時	七	七	七	七	七	七	七	二	二	二	三
三	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
年	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
數時	八	八	八	八	八	八	八	二	二	二	三
四	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
年	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
數時	九	九	九	九	九	九	九	一	一	一	三

一、僧侶ニ非ザルモノハ佛教學科中三科目以內ヲ隨意科トナスコトヲ得
二、國文學史、國語學史ハ學級ヲ併合シ隔年交互ニ之ヲ授ク

別記第三號 尼衆學院學科課程及每週ノ授業時數

別記ノ三 尼衆學院學科課程及每週ノ授業時數

一三四

計	漢國 語 文及	修 身	歷 史	實 習	餘 乘	宗 乘	學 科	期 間
							講 讀	國 民 道 德
三〇	六	二	二	二	六	六六	上	上
三〇	六	二	二	二	六	六六	上	上
三〇	六	二	二	二	六	六六	上	上
三〇	六	二	二	二	六	六六	上	上

第一號樣式

投票用紙

表
2寸
第
號
5寸

投票用封皮

表
第
部
宗
務
號
支
所
管
內
管
長
投
票

投票用封筒

表
京
都
府
乙
訓
郡
粟
生
淨
土
宗
西
山
光
明
寺
派
宗
務
所
選
舉
長
氏
名
殿
(投票在中)

樣
式

裏
上

裏
上

裏
上

裏
上

封

宗
務
印
所

所
在
地
部
宗
務
支
所
管
內
寺
住
職
會
主
管
者
氏
名

一三五

第二號樣式

投票用封皮

第 部宗務支所管内	宗務支所 副正長投票
--------------	---------------

投票用紙、投票用封皮、同上裏及投票用封筒ハ第一號樣式ニ準ズ

第三號樣式

投票用封皮

第 部宗務支所管内	宗會議員投票
--------------	--------

投票用紙、投票用封皮、同上裏ハ第一號樣式ニ準ズ

投票用封筒

住 部宗務支所	選舉長殿
(投票在中)	

第四號樣式

度牒

住所	徒弟
職名	姓名
僧名	生年月日
右者 年 月 日何寺道場ニ於テ得度セシコト ヲ認メ僧籍簿ニ登載シ畢メ仍テ度牒ヲ授與ス	
年 月 日	
淨土宗西山光明寺派管長 某	
印	

第五號樣式

樣式

表

第 號

○

淨土宗西山
光明寺派
管長印

(格印)

托鉢免許之證

裏

住所

淨土宗西山何寺住職又ハ徒弟
光明寺派

○

教 級 姓 名

年 月 日 生

年 月 日 免 許

昭和十五年十一月十三日印刷
昭和十五年十一月十八日發行

京都府下乙訓郡粟生

淨土宗西山光明寺派寺務所

編輯者兼 發行 田 村 歡 陽

京都市下京區西洞院通七條南
内外出版印刷株式會社

印刷者 須 磨 勘 兵 衛

京都府乙訓郡粟生

發行所 淨土宗西山光明寺派寺務所

406
190

終

